

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成 15 年度（1 年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	白岩浜地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 石狩森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該地は、余市郡余市町白岩浜右岸直部の切り立った岩盤斜面に位置し、入り船漁港に隣接している。新第 3 紀層堆積岩・泥岩からなり、風化が著しく崩壊しやすい砂質土壌である。融雪期及び降雨時に落石の被害が発生していた。</p> <p>このため、漁港、民家等への落石防止と地域住民の民生の安定を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 山腹工：0.27 ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）		27,000 千円
	総便益（B）	水源かん養益	2,316 千円
		環境保全便益	161 千円
		災害防止便益	70,028 千円
		計	72,505 千円
	分析結果（B/C）		2.69
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 岩盤の斜面状況から、放置すれば落石被害の拡大等が懸念されることから、地域住民の民生の安定を図るために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当該事業の実施により、岩盤の復旧が図られ、地域住民の民生が図られることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画にあたっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	奥地保安林保全対策モデル(国有林)	事業計画期間	平成15年度～平成16年度(2年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	水明の沢地区 (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 石狩森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、千歳市の水道水取水源の千歳川上流部にあり、水源かん養機能、とりわけ水質保全機能の確保が必要な地区である。当該地区には小規模の崩壊地が点在しており、融雪・豪雨時等に土砂の流出の恐れがある。しかしながら、流域上流に位置する地理的条件等の制約から、機械、資材の搬入が困難であり、工事費が掛増しになる等、治山事業の円滑な推進に支障をきたしてきたところである。今後は、現地発生材を活用した人力による簡易な工法の採用により荒廃地の復旧、水質保全機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 溪間工：2基、山腹工：0.1 ha (丸太土留工、木製枠土留工、木製水路工、木製ダム等)</p>		
費用対効果分析	総費用(C)		20,000千円
	総便益(B)	水源かん養益	2,275千円
		環境保全便益	161千円
		災害防止便益	74,161千円
	計	76,597千円	
	分析結果(B/C)		3.83
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保全機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当該事業の実施により、崩壊地の復旧、及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保全機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	生活環境保全林整備(国有林)	事業計画期間	平成15年度～平成19年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	ポロト地区 (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 胆振東部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該地区は、白老町の市街地に隣接して位置し、「ポロト自然休養林」に指定されている。地区内にはポロト湖があり、ワカサギ等の漁が行われている。白老町は道内でも有数の豪雪地帯であり、このことから上流部の森林整備及び荒廃地の復旧により保安林機能の維持・向上を図り、土砂の流出防止や濁水の防止を図るものである。併せて休養林内の施設整備の実施により、それらの利用と共に町内をはじめ近隣市町村の小中学校が森林学習の場としてまた、町民の憩いの場として整備を図るものである。</p> <p>このことから、町の施設整備等と調整を図りつつ、多目的な森林の機能の発揮を念頭においた生活環境保全林整備事業を実施するものである。</p> <p>・主な事業内容 溪間工：2基、山腹工：1ha 植付：0.2ha、保育：200ha、本数調整伐：138ha 管理歩道：1,200m</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	175,350千円	
	総便益(B)	水源かん養益	564,241千円
		環境保全便益	161千円
		災害防止便益	1,068,634千円
		計	1,633,036千円
	分析結果(B/C)	9.31	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 当地区は年々利用者の増加も見られること等から、森林及び河床等の整備を図り、森林環境教育の場としての施設整備と水土保全機能の維持・向上を図るための整備が必要である。</li> <li>・有効性： 当該事業の実施により、環境整備教育のフィールドとして整備等がなされ、山地災害防止機能等の増進が図られることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 事業の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	中の沢地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局旭川分局 留萌南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、苫前郡苫前町内を流れる古丹別川上流に位置し、地質は新第三紀の古丹別層で礫岩・砂岩・及び泥岩の互層のため脆弱である。これまでの融雪及び豪雨による崩壊地が多く、不安定土砂が堆積している。</p> <p>このため、山腹崩壊地の拡大及び溪床に堆積している不安定土砂の流出を防止し、国道等の保全を図る目的でコンクリート谷止工を計画した。これにより崩壊地の復旧整備を実施し、水土保持機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	16,000千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 1,419千円 環境保全便益 11千円 災害防止便益 54,558千円 計 55,988千円	
	分析結果（B/C）	3.50	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	2100林班地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局旭川分局 留萌南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、苫前郡苫前町内を流れる古丹別川上流に位置し、地質は新第三紀の古丹別層で礫岩・砂岩及び泥岩の互層のため脆弱である。これまでの融雪及び豪雨による崩壊地が多く、不安定土砂が堆積している。</p> <p>このため、山腹崩壊地の拡大及び溪床に堆積している不安定土砂の流出を防止し、国道等の保全を図る目的でコンクリート谷止工を計画した。これにより崩壊地の復旧整備を実施し、水土保持機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	12,000千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 551千円 環境保全便益 4千円 災害防止便益 24,799千円 計 25,354千円	
	分析結果（B/C）	2.11	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	1033林班地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局旭川分局 留萌南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、直下に道道達布石狩沼田停車場線があり、小平薬川上流に位置している。地質は第三紀の砂岩・礫岩・泥岩層のため脆弱である。これまでの融雪及び豪雨により山腹崩壊が発生し、不安定土砂が堆積している。</p> <p>このため、山腹崩壊地の拡大及び堆積している不安定土砂の流出を防止を目的に山腹工を計画した。これにより崩壊地の復旧整備を実施し、民生の安定を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.35ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	15,000千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 525千円 環境保全便益 1千円 災害防止便益 35,710千円 計 36,236千円	
	分析結果（B/C）	2.42	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧及び堆積する土砂の安定が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	二の沢地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局旭川分局 上川北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、平成13年8月の集中豪雨により林地が崩壊して大量の土砂が流出し、下流の道道・畑に被害を与えた箇所である。また、地すべり性崩壊地が点在しており、溪流内に不安定土砂が堆積している。</p> <p>このため今後の融雪・豪雨等により流出する危険性があり、流出防止と山脚の固定を図ることを目的に溪間工を計画した。これにより、荒廃溪流及び山腹荒廃地の復旧を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	13,000千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	1,236千円
		災害防止便益	44,099千円
		計	45,335千円
	分析結果（B/C）	3.49	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：平成13年8月の土砂流出の状況から、放置すれば今後の融雪・豪雨等により土砂の流出が懸念されることから、本事業は必要である。</li> <li>・有効性：本事業の実施により、上流域に点在する地滑り性崩壊地から流出する土砂の安定を図ることができ、水土保持機能が維持・向上されることから有効である。</li> <li>・効率性：本事業の計画にあたっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されております。また、費用以上の効果が期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		





## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	長谷川地先地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局旭川分局 宗谷森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、北海道の北端部に位置し、そのうえ外洋にさらされているので、各月を通じて一般に寒冷である。 地質は新第三紀層で岩質は頁岩であるが、露岩地は凍結・融解で風化し易い状況にある。 当該箇所の直下は住宅密集地で、豪雨や融雪時に増水し、溪岸が侵食されており、国有林境界に隣接する人家の土台が崩壊する危険性がある。 このため、流水による溪岸の横侵食を防止する目的で護岸工を計画した。</p> <p>主な事業内容</p> <p style="text-align: center;">溪間工（護岸工） 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	10,000 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	831 千円
		災害防止便益	48,894 千円
		計	49,725 千円
	分析結果（B/C）	4.97	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 溪岸の荒廃状況から、放置すれば人家の倒壊、崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業地の実施により、溪岸浸食及び崩壊地の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工については、現地の状況に応じた最も効率的かつ効果的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	宝来地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局旭川分局 宗谷森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、北海道の北端部に位置し、そのうえ外洋にさらされているので、各月を通じて一般に寒冷である。 地質は新第三紀層で岩質は頁岩であるが、露岩地は凍結・融解で風化し易い状況にある。 当該箇所は、平均勾配35°の斜面直下に住宅が密集しており、法尻が崩壊し危険なためコンクリート土留工と落石防止柵を計画した。 また、下部住民から治山施設の要望が出されている箇所である。</p> <p>主な事業内容 山腹工（土留工・落石防止工）1ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	13,000千円	
	総便益（B）	885千円	
	災害防止便益	49,981千円	
	計	50,866千円	
	分析結果（B/C）	3.91	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：山腹崩壊地及び森林の荒廃状況から、放置すれば人家への土砂流出・倒壊等の被害が懸念されること、周辺住民からも保安施設の設置要請がされていることから当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性：事業の実施により崩壊地の復旧が図られることから、事業の有効性は認められる。</li> <li>・効率性：対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効率的かつ効果的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	港内6地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局旭川分局 宗谷森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、利尻島北東部に位置し急崖となっている。下流には2町の発電源である発電所等があることから、電源確保上重要な地域であるが新第三紀の旧扇状地堆積物で覆われている脆弱な地質構造であり、豪雨の都度山腹斜面の崩壊が発生していた。</p> <p>このため、斜面上部からの落石による被害の防止を図ることを目的にコンクリート土留工と落石防止柵を計画した。これにより崩壊地の復旧整備を実施し、水土保全機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工（土留工・落石防止工）1.2ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	15,000千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 496千円 災害防止便益 61,432千円 計 61,928千円	
	分析結果（B/C）	4.13	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：山腹崩壊及び落石の恐れがあり、斜面の荒廃状況から、放置すれば直下の発電所、人家等被害の拡大が予想されることから、斜面の安定を図り、落石の抑止・軽減のため当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性：当事業の実施により、落石による被害の防止・軽減が図られ、山腹斜面が安定することから有効性は認められる。</li> <li>・効率性：対策工の計画に当たっては、現地の実態に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上に効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	相川の沢地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局旭川分局 宗谷森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、日本最北端の日本海上に、丁度蝸（さそり）が手を上げたような恰好で浮かんでいる礼文島の東海岸にある。地質は礼文層の火山砕屑岩の要素の多い堆積物からなる脆弱な地質構造であり、凍結・融解による山腹斜面の崩壊により、森林の被害、崩壊土砂の流出が発生していた。</p> <p>このため、山腹斜面からの崩土、落石の防止を図ることを目的にコンクリート土留工・落石防止網を計画した。これにより崩壊地の復旧整備を実施し、水土保持機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工（土留工・落石防止工）1.7ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	29,000 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	5,351 千円
		災害防止便益	100,471 千円
		計	105,822 千円
	分析結果（B/C）	3.65	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：山腹崩壊地の状況から、放置すれば直下の人家に落石や土砂の流入等の被害が懸念されることから、山腹斜面の安定を図るため当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性：当事業の実施により、崩壊地の復旧、落石の発生の未然防止、山腹斜面の安定が図られることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性：対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	複層林型保安林整備推進(国有林)		事業計画期間	平成15年度～平成16年度(2年間)												
事業実施地区名 (都道府県名)	問牧地区 (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局旭川分局 宗谷森林管理署枝幸事務所													
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、枝幸町北部のオホーツク海沿岸に位置し、土砂流出防備保安林となっている。また、下流側に宗谷北部へ通じる国道が並行しており、重要な地区であるが、北海道北部海岸線の厳しい気象条件により森林の育成が阻まれ未立木化し、水土保持機能が低下しているため土砂流出・崩壊の恐れがある。 このため、複層林への誘導等の森林整備を計画的に実施し、水土保持機能の増進を図るものである。</p> <p>主な事業内容</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>植付</td> <td>8</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>保育</td> <td>15</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>作業道新設</td> <td>2.7</td> <td>km</td> </tr> <tr> <td>作業道補修</td> <td>1.5</td> <td>km</td> </tr> </table>				植付	8	ha	保育	15	ha	作業道新設	2.7	km	作業道補修	1.5	km
植付	8	ha														
保育	15	ha														
作業道新設	2.7	km														
作業道補修	1.5	km														
費用対効果分析	総費用(C)	21,577千円														
	総便益(B)	水源かん養便益	62,853千円													
		国土保全便益	120,114千円													
		環境保全便益	280千円													
		計	183,247千円													
	分析結果(B/C)	8.49														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：未立木地状態を放置すれば、土砂流出・崩壊の恐れが拡大することから、水源涵養機能・水土保持機能の維持増進のため当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性：当事業の実施により、森林の未立木地が解消され、水源涵養・水土保持機能の維持増進が図られることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性：植栽工等の計画にあたっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>															

## 事前評価個表

事業名	複層林型保安林整備推進(国有林)	事業計画期間	平成15年度～平成16年度(2年間)												
事業実施地区名 (都道府県名)	音標地区 (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局旭川分局 宗谷管理署枝幸事務所												
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、風烈布川上流部に位置し、枝幸町南部地区の水源地となっている また、下流には国道・道道が通る重要な地区であるが、北海道の厳しい気象条件 により森林の育成が阻まれていることから、水土保全機能が低下しているため土 砂流出・崩壊の恐れがある。 このため、複層林への誘導等の森林整備を計画的に実施し、水土保全機能の増 進を図るものである。</p> <p>主な事業内容</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>植付</td> <td>2</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>地表処理</td> <td>2</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>保育</td> <td>364</td> <td>km</td> </tr> <tr> <td>作業道修理</td> <td>2.1</td> <td>km</td> </tr> </table>			植付	2	ha	地表処理	2	ha	保育	364	km	作業道修理	2.1	km
植付	2	ha													
地表処理	2	ha													
保育	364	km													
作業道修理	2.1	km													
費用対効果分析	総費用(C)	17,654千円													
	総便益(B)	水源かん養便益	15,712千円												
		災害防止便益	51,862千円												
		環境保全便益	264千円												
	計	67,838千円													
	分析結果(B/C)	3.84													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 未立木地状態を放置すれば、土砂流出・崩壊の恐れが拡大すること から、水源涵養機能・水土保全機能の維持増進のため当事業の実施が 必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、森林の未立木地が解消され、水源涵養・水土 保全機能の維持増進が図られることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 植栽工等の計画にあたっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的 な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できる ことから、効率性は認められる。</li> </ul>														

## 事前評価個表

事業名	複層林型保安林整備推進(国有林)	事業計画期間	平成15年度～平成16年度(2年間)												
事業実施地区名 (都道府県名)	清水沢地区 (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局旭川分局 上川中部管理署上川事務所												
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、留辺志部川上流部に位置し、上川町の水源地となっている。また下流には国道、高規格道路、JR線と交通機関が通る重要な地区であるが、北海道の厳しい気象条件により森林の育成が阻まれ未立木地化し、水土保持機能が低下しているため土砂流出・崩壊の恐れがある。 このため、複層林への誘導等の森林整備を計画的に実施し、水土保持機能の増進を図るものである。</p> <p>主な事業内容</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>植付</td> <td>6</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>保育</td> <td>6</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>作業道新設</td> <td>1.3</td> <td>km</td> </tr> <tr> <td>作業道補修</td> <td>1.8</td> <td>km</td> </tr> </table>			植付	6	ha	保育	6	ha	作業道新設	1.3	km	作業道補修	1.8	km
植付	6	ha													
保育	6	ha													
作業道新設	1.3	km													
作業道補修	1.8	km													
費用対効果分析	総費用(C)	13,885千円													
	総便益(B)	水源かん養便益	12,257千円												
		国土保全便益	25,543千円												
		環境保全便益	265千円												
	計	38,065千円													
	分析結果(B/C)	2.74													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：未立木地状態を放置すれば、土砂流出・崩壊の恐れが拡大することから、水源涵養機能・水土保持機能の維持増進のため当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性：当事業の実施により、森林の未立木地が解消され、水源涵養・水土保持機能の維持増進が図られることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性：植栽工等の計画にあたっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>														

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	丹内地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局旭川分局 上川南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、鶴川支流域ニセパオマナイの下流部に位置し、下流には農地が広がっている地域である。平成13年9月の集中豪雨により、上流に堆積していた土砂が流出し、下流の農地まで達するという被害が発生した。 このため、今後の豪雨等による不安定土砂の流出を防止する目的で溪間工を計画した。これにより溪床の安定、水土保全機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基 水路工90m</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	22,000千円	
	総便益（B）	2,564千円	
	環境保全便益	5千円	
	災害防止便益	61,392千円	
	計	63,961千円	
	分析結果（B/C）	2.91	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば溪岸浸食の拡大等が懸念されることから、農地等の保全及び水土保全機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保全機能が維持・向上されることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画にあたっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		



## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	1215林班地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局旭川分局 上川南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、鶴川支流域双珠別下流に位置し、直下に農地があり平成13年9月の集中豪雨により、山腹斜面が崩壊し、その土砂が農地に流出する被害が発生していた。</p> <p>このため、今後の豪雨等による山腹崩壊地の拡大及び崩壊土砂の流出を防止する目的で山腹工を計画した。これにより山腹崩壊面の復旧と水土保持機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 1ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	10,000 千円	
	総便益（B）	2,045 千円	
	環境保全便益	3 千円	
	災害防止便益	41,112 千円	
	計	43,160 千円	
	分析結果（B/C）	4.32	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、農地等の保全及び水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画にあたっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	保安林管理道整備（国有林）	事業計画期間	H15年度～H19年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	西占冠地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局旭川分局 上川南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、鶴川支流西占冠上流部に位置し、下流には占冠村の保養施設がある地域で、高海拔による厳しい気象条件により森林は荒廃し、未立木地も多く存在している。 このため、森林整備等を総合的に実施し、水土保全機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 保安林管理道 5,000m</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	152,482 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	138,720 千円
		国土保全便益	305,048 千円
		環境保全便益	231 千円
		計	443,999 千円
	分析結果（B/C）	2.91	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 林況が粗悪で、森林又は成林が困難となるおそれがあり、山地災害の防止、水源かん養の見地から適正な維持管理をするために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業に実施により、崩壊地の復旧、が図られ、水土保全機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 既設林道を結ぶ循環道として、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	奥地保安林保全対策モデル(国有林)	事業計画期間	平成15年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	熊の沢地区 (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局旭川分局 上川南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該地区は、流域の奥地に位置する山腹崩壊地であり、降雨の都度、土砂の発生が著しい流域であるが、既設道路からの距離、峽隘地による路網作設等地理的条件により対策が遅れていた。 このため、現地に自生するヤナギ等を利用した編柵工や、現地採取土を中詰土とする植生土のう等により発生源対策を実施するものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工：0.17ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	10,000千円	
	総便益(B)		
	水源かん養便益	757千円	
	環境保全便益	224千円	
	災害防止便益	25,051千円	
	計	26,032千円	
	分析結果(B/C)	2.60	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、奥地保安林の保全対策モデル事業を実施することにより、水土保持機能の維持・向上が図られることを目的に当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成17年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	石油沢地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局旭川分局 空知森林管理署北空知支署
事業の概要・目的	<p>当該地域は、豪雪地帯で流域面積も広大なため融雪時・降雨時に出水量が多いため、溪岸が浸食され、ここに生育している立木が流され、民地及び国道の橋梁に被害が発生していた。</p> <p>このため、山地災害から山村を守り、豊かな生活環境を創出する目的で溪流沿いに堆積している倒木等の危険木の処理、流木の流出を防止するスリットダムの設置等を実施し、流木に起因した災害の未然防止を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工（スリットダム）3基 流木除去 全長3km</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	111,583千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	16,687千円
		環境保全便益	11千円
		災害防止便益	225,576千円
		計	242,274千円
	分析結果（B/C）	2.17	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 当該地区の流木堆積状況、河川の荒廃状況、流域面積の広大なことによる出水状況から判断して、事業実施がされない場合、再び下流の農地・国道275号線に危害が及ぶことが容易に予見されるため、早急に当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 流木対策工（スリットダム）を実施することにより、流木の民地に流出することが防止され、同時に危険な流木の除去を併せて実施することから有効性は確保される。</li> <li>・効率性： 支線を含め三本ある沢のそれぞれに流木が堆積されている状況から各沢に1基ずつ対策工を実施する計画で、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	湯の沢地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局北見分局 網走西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、紋別郡丸瀬布町南部、湧別川支流武利川上流部に位置し、下流域には人家、道々、養殖場、農地、武利ダム（発電用）等があり、良質な水資源確保や国土保全上重要な地域であるが、近年の豪雨等による上流域の山腹斜面の崩壊や溪岸浸食に伴い、溪床内には不安定土砂が堆積しており、今後の豪雨や融雪等により土砂が流出して下流域に被害を及ぼす恐れが大きくある。</p> <p>このため、荒廃溪床の復旧を図り、人家や道々等の保全及び水土保持機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 溪間工：1基 山腹工：0.06ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	24,000 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 9,020 千円	
		災害防止便益 30,172 千円	
		計 39,192 千円	
	分析結果（B / C）	1.63	
評価結果	<p>・必要性： 溪岸浸食や溪床内に堆積している不安定土砂の状況から、放置すれば豪雨等の際に、土砂が流出して下流域に被害を及ぼすことが懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</p> <p>・有効性： 当事業の実施により、荒廃地の復旧や溪床に堆積する不安定土砂の安定が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</p> <p>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現時に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ほんにころざわ ボンニコロ沢地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局北見分局
事業の概要・目的	<p>当地区は、北見市南部、常呂川支流仁頃川上流部に位置し、下流域には人家、国道（333号線）、農地等があり国土保全上重要な地域であるが、近年の豪雨等により山腹斜面の崩壊や、溪岸の浸食が見られ、溪床内には随所に不安定土砂が堆積しており、今後の豪雨や融雪等により土砂が流出して下流域に被害を及ぼす恐れが大きくなる。</p> <p>このため、溪床荒廃地の復旧と不安定土砂の安定を図り、人家や国道等の保全及び水土保全機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 溪間工：1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	14,000 千円	
	総便益（B）		
	水源かん養便益	5,266 千円	
	災害防止便益	33,599 千円	
	計	38,865 千円	
	分析結果（B / C）	2.78	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 溪岸の浸食や溪床内に堆積している不安定土砂の状況から、放置すれば豪雨等の際に、土砂が流出して下流域に被害を及ぼすことが懸念されることから、水土保全機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、荒廃地の復旧や溪床に堆積する不安定土砂の安定が図られ、水土保全機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現時に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	いゆたにがわ イユ谷川地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局北見分局
事業の概要・目的	<p>当地区は、網走郡津別町南部、網走川上流部に位置し、下流域には人家や国道（240号線）等があり、国土保全上重要な地域であるが、近年の台風に伴う豪雨等により溪岸崩壊と浸食が発生し、溪床内には多量の不安定土砂が堆積するとともに、溪岸には多くの倒木が発生した。今後の豪雨や融雪等により土砂の流出や、倒木の流下により下流域に被害を及ぼす恐れが大きくなる。</p> <p>このため、溪床荒廃地の復旧と不安定土砂の安定を図るとともに流出の恐れのある倒木を処理し、人家や国道等の保全及び水土保持機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 溪間工：1基 倒木処理：300m<sup>3</sup></p>		
費用対効果分析	総費用（C）	38,500 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	18,513 千円
		災害防止便益	100,200 千円
		計	118,713 千円
	分析結果（B / C）	3.08	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 溪岸の崩壊や浸食、溪岸の倒木、溪床内に堆積している不安定土砂の状況から、放置すれば豪雨等の際に、土砂や倒木が流出して下流域に被害を及ぼすことが懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、荒廃地の復旧や溪床に堆積する不安定土砂の安定及び倒木の処理が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現時に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	予防治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	きせんざわ 木線沢地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局北見分局 網走西部森林管理署 西紋別支署
事業の概要・目的	<p>当地区は、紋別市南部、渚滑川支流立牛川下流部に位置し、下流域には人家、道々、農地があり国土保全上重要な地域であるが、山腹崩壊や溪岸浸食により不安定土砂が堆積しており、今後の豪雨や融雪等により土砂が流出して下流域に被害を及ぼす恐れが大きくなる。</p> <p>また、計画箇所の下流域については、崩壊土砂流出危険地区に指定されていることもあり、治山事業の実施により土砂の流出等を予防し、家や道道等の保全及び水土保全機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 溪間工：1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	10,000 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 5,189 千円 災害防止便益 15,771 千円 計 20,960 千円	
	分析結果（B / C）	2.10	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 溪岸の崩壊や浸食、溪床内に堆積している不安定土砂の状況から、放置すれば豪雨等の際に、土砂が流出して下流域に被害を及ぼすことが懸念されることから、水土保全機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、荒廃地の復旧や溪床に堆積する不安定土砂の安定が図られ、水土保全機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現時に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		



## 事前評価個表

事業名	地域防災対策総合治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成18年度（4年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ウトロ地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局北見分局 網走南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、斜里郡斜里町ウトロ地区の後背地に位置し、海食崖地形で斜面中腹部から上部にかけては岩盤が露出して急崖を形成しており、山地災害危険地区に指定されている。岩盤は亀裂が多く風化も進んでいることから、大雨や凍結融解時期には落石の発止源となっており、民家等に被害が発生している。</p> <p>このため、計画的に落石防止網工、落石防護柵工等を施工し、人家や宿泊施設国道等の保全及び水土保持機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 落石防護網工：27,000m<sup>2</sup> 落石防護柵工： 200m</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	294,000 千円	
	総便益（B）		
	水源かん養便益	36,554 千円	
	災害防止便益	1,408,192 千円	
	計	1,444,746 千円	
	分析結果（B / C）	4.91	
評価結果	<p>・必要性： 急傾斜な後背地の岩盤の亀裂や風化の状況から、放置すれば豪雨等の際に、落石が発止して人家、宿泊施設、国道等に被害を及ぼすことが懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</p> <p>・有効性： 当事業の実施により、落石の恐れのある箇所等の安定が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</p> <p>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現時に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	複層林型保安林整備推進（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	オンネ沢地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局北見分局 網走西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、紋別郡生田原町西部、生田原川支流オンネ沢上流部に位置し、下流域には鉄道（JR石北本線）、国道（242号線）、営農用水取水施設、農地等があり国土保全上重要な地域であるが、地区内の保安林は過密化が進行する等水土保持機能が低下してきており、今後の豪雨や融雪等により林地の崩壊、土砂流出等により下流域に被害を及ぼす恐れが大きくなる。</p> <p>このため、本数調整伐により下層植生の成長の促進と立木の生育の健全化を図り、併せて丸太筋工等の簡易な治山施設の整備を進め、鉄道、国道、農地等の保全及び水土保持機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>なお、本数調整伐の実施により天然木の更新等も見込まれることから、その状況を踏まえて、必要な保育等を実施し多様な樹種・林齢で構成される複層林へと誘導していくこととする。</p> <p>・主な事業内容 本数調整伐：26.0ha 丸太筋工：4.0ha 作業道：1.0km</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	19,000 千円	
	総便益（B）	<p>水源かん養便益 66,509 千円</p> <p>国土保全便益 105,790 千円</p> <p>計 172,299 千円</p>	
	分析結果（B / C）	9.07	
評価結果	<p>・必要性： 森林の過密化等の状況から、放置すれば豪雨等の際に、林地が崩壊して土砂が流出し下流域に被害を及ぼすことが懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</p> <p>・有効性： 当事業の実施により、下層植生の成長の促進と立木の生育の健全化、林地の崩壊防止等が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</p> <p>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現時に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	寺の沢地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局帯広分局 根釧西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、脆弱な地質構造と度重なる降雨により林地崩壊及び溪岸浸食等が発生し、溪床内に不安定土砂が堆積している。 今後の融雪・降雨等により土砂が流出し、下流の寺院、民家等に被害を与えるおそれが高いため、溪間工を実施して土砂流出の防止と荒廃溪流の復旧を図るため実施するものである。</p> <p>主な事業内容 谷止工2基 480m<sup>3</sup></p>		
費用対効果分析	総費用（C）	30,000千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	1,438千円
		災害防止便益	80,386千円
		計	81,824千円
	分析結果（B/C）	2.73	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば荒廃地の拡大及び不安定土砂の流出が懸念されることから当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、荒廃地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧により、下流域の保全が図られることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	雄別三の沢地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局帯広分局 根釧西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、脆弱な地質構造で溪流沿いに荒廃森林が存在しており、融雪・降雨等により林地崩壊が発生し、溪床内に不安定土砂が堆積している。  今後の融雪・豪雨等により、土砂が流出し、下流の農地等に被害を与えるおそれが高いため、溪間工を実施して土砂流出の防止と荒廃溪流の復旧を図る目的で実施するものである。</p> <p>主な事業内容  谷止工1基 300m<sup>3</sup></p>		
費用対効果分析	総費用（C）	18,000千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	718千円
		国土保全便益	19,689千円
		計	20,407千円
	分析結果（B/C）	1.13	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば荒壊地の拡大及び不安定土砂の流出が懸念されることから当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、荒廃地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧により、下流域の保全が図られることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	跡佐登の沢地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局帯広分局 根釧西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、脆弱な地質構造と台風に伴う集中豪雨等により山腹斜面が崩壊し、溪床内に不安定土砂が堆積している。          今後の融雪・降雨等により、土砂が流出し農地等に被害を与えるおそれが高いため、溪間工を実施して土砂流出の防止と荒廃溪流の復旧を図る目的で実施するものである。</p> <p>主な事業内容          谷止工 1基 174 m<sup>3</sup>          丸太谷止工 2基 140 m<sup>3</sup></p>		
費用対効果分析	総費用（C）	20,000千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	2,415千円
		国土保全便益	61,708千円
		計	64,123千円
	分析結果（B/C）	3.21	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大及び不安定土砂の流出が懸念されることから当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性：当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧により、下流域の保全が図られることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性：対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	硫黄山地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局帯広分局 根釧西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、道東の観光地名所として多数の観光客の入り込みのある箇所であるが、硫黄質の脆弱な地質構造からなり、土砂流出防備保安林（保健保安林兼種）に指定されている。</p> <p>今後、融雪・降雨等により、土砂及び火山灰が流出し、直下道道及び園地等に土砂流出等の被害を与えるおそれが高いため、それらの流出を防止する目的で実施するものである。</p> <p>主な事業内容 流路工、木柵工 1,500m</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	16,000千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 1,527千円 国土保全便益 38,995千円 計 40,522千円	
	分析結果（B/C）	2.53	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 溪床に堆積する不安定土砂及び火山灰の状況から、放置すればそれらの流出が懸念されることから当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、溪床に堆積する土砂の安定及び火山灰が安定し、下流域の保全が図られることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	パンケナイ川地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局帯広分局 十勝西部森林管理署大樹森林管理センター
事業の概要・目的	<p>当地区は、脆弱な地質構造と台風による集中豪雨等により山腹斜面が崩壊し、林道直上部に不安定土砂が堆積している。  今後の融雪・降雨等により、土砂が流出し直下にある道道等に被害を与えるおそれが高いため、山腹工を実施して土砂流出の防止と山腹の安定を図る目的で実施するものである。</p> <p>主な事業内容  山腹工 0.10ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	4,000千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 342千円 災害防止便益 9,093千円 計 9,435千円	
	分析結果（B/C）	2.36	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大及び不安定土砂の流出が懸念されることから当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、山腹崩壊地の安定及び荒廃森林の復旧にり、下流域の保全が図られることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	札幌古川地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局帯広分局 十勝西部森林管理署大樹森林管理センター
事業の概要・目的	<p>当地区は、脆弱な地質構造と台風による集中豪雨等により山腹斜面が崩壊し、溪床内に不安定土砂が堆積している。          今後の融雪・降雨等により、土砂が流出し直下にある町道等に被害を与えるおそれが高いため、溪間工を実施して土砂流出の防止と荒廃溪流の復旧を図る目的で実施するものである。</p> <p>主な事業内容          谷止工・床固工 2基 500m<sup>3</sup></p>		
費用対効果分析	総費用（C）	28,300千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 2,962千円 国土保全便益 47,829千円 計 50,791千円	
	分析結果（B/C）	1.79	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大及び不安定土砂の流出が懸念されることから当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧により、下流域の保全が図られることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		



## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ユーニペソツ左の沢地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局帯広分局 十勝西部森林管理署東大雪支署
事業の概要・目的	<p>当地区は、脆弱な地質構造と台風による集中豪雨等により山腹斜面が崩壊し、溪床内に不安定土砂が堆積している。          今後の融雪・降雨等により、土砂が流出し直下にある林道や農地等に被害を与えるおそれが高いため、溪間工を実施して土砂流出の防止と荒廃溪流の復旧を図る目的で実施するものである。</p> <p>主な事業内容          谷止工 1基 446m<sup>3</sup></p>		
費用対効果分析	総費用（C）	30,000千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 2,924千円 国土保全便益 77,734千円 計 80,658千円	
	分析結果（B/C）	2.69	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大及び不安定土砂の流出が懸念されることから当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧により、下流域の保全が図られることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	予防治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	境の沢地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局帯広分局 十勝東部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、脆弱な地質構造と台風による集中豪雨等により、渓床内に不安定土砂が堆積している。 今後の融雪・降雨等により、土砂が流出し下流域にある道道に被害を与えるおそれが高いため、渓間工を実施して土砂流出の防止と渓流荒廃の防止を図る目的で実施するものである。</p> <p>主な事業内容  谷止工 1基 80m<sup>3</sup>  丸太流路工 30m</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	10,000千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	1,136千円
		国土保全便益	24,432千円
	計	25,568千円	
	分析結果（B/C）	2.56	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 渓床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば不安定土砂の流出が懸念されることから当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、渓床に堆積する土砂の安定が図られ、下流域の保全が図られることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	森林水環境総合整備（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	清水地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局帯広分局 十勝西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、清水町の南西部に位置し、町の重要な水源のひとつとして取水ダムが設置されている。 昭和56年、平成10年の集中豪雨により林分の一部が荒廃森林となり、これを放置することにより、荒廃森林の拡大と下流部への土砂流出のおそれがあり、又風衝未立木地が点在していることから、良質な生活用水を長期にわたり安定的に確保するために山腹工等治山施設の設置や森林整備を行うものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.15ha、防風工 6,000m 地拵 42ha、植栽工 57ha、本数調整伐 7ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	130,089千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	241,796千円
		国土保全便益	491,878千円
	計	733,674千円	
	分析結果（B/C）	5.64	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 森林の荒廃状況から、放置すれば荒廃森林の拡大及び表土の流出が懸念されることから当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、水源のかん養と表土の流出防止が図られ、下流域の保全が図られることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	複層林型保安林整備推進(国有林)	事業計画期間	平成15年度～平成21年度(7年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	陸別地区 (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局帯広分局 十勝東部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、陸別町の北西部に位置し、下流の民家及び農地に対する水土保全機能を果たしている。 平成13年の竜巻発生により林分の一部が荒廃森林となり、これを放置することにより、荒廃森林の拡大と下流部への土砂流出のおそれがあることから、計画的に複層林として整備することにより保安林として高度な機能の発揮を図るものである。</p> <p>主な事業内容 地拵・植栽工 2.6ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	29,900千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	91,578千円
		災害防止便益	3,314千円
		計	94,892千円
	分析結果(B/C)	3.17	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 森林の荒廃状況から、放置すれば荒廃森林の拡大及び不安定土砂の流出が懸念されることから当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、水源のかん養と表土の流出防止が図られ、下流域の保全が図られることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	複層林型保安林整備推進(国有林)	事業計画期間	平成15年度～平成18年度(4年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	中標津地区 (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局帯広分局 根釧東部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、中標津町の北西部に位置し、周辺農地に対する風害軽減のため重要な役割を担っている。 昭和30年代に造成されて以後、極めて厳しい気象条件下において林分は徐々に荒廃(疎林化)が進行しており、これを放置することにより、周辺の保全対象に対する保安林機能を損い、著しい影響を来すおそれがあることから、計画的に複層林として整備することで保安林機能の向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 地拵・植栽工 12ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	9,450千円	
	総便益(B)		
	環境保全便益	63,153千円	
	計	63,153千円	
	分析結果(B/C)	6.68	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 森林の荒廃状況から、放置すれば荒廃森林の拡大及び周辺農地に対する風害軽減機能の損われることが懸念されることから当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、風害の軽減効果の向上が図られ、周辺域の保全が図られることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	複層林型保安林整備推進(国有林)	事業計画期間	平成15年度～平成18年度(4年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	別海地区 (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局帯広分局 根釧東部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、別海町の西部に位置し、周辺農地に対する風害軽減のため重要な役割を担っている。 昭和30年代に造成されて以後、極めて厳しい気象条件下において林分は徐々に荒廃(疎林化)が進行しており、これを放置することにより、周辺の保全対象に対する保安林機能を損い、著しい影響を来すおそれがあることから、計画的に複層林として整備することで保安林機能の向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 地拵・植栽工 19ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	15,553千円	
	総便益(B)		
	環境保全便益	59,545千円	
	計	59,545千円	
	分析結果(B/C)	3.83	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 森林の荒廃状況から、放置すれば荒廃森林の拡大及び周辺農地に対する風害軽減機能の損われることが懸念されることから当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、風害の軽減効果の向上が図られ、周辺域の保全が図られることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	岩ノ下沢地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局函館分局 渡島森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は内浦湾に注ぐ野田追川上流域に位置しており、新第三紀層の脆弱な地質のため、融雪及び集中豪雨により溪流の荒廃が拡大し、今後の降雨等で下流の農地、道道に被害の与える恐れが大きい。 このため溪間工等を施工し、荒廃溪流の復旧を図り民生の安定に寄与する。</p> <p>主な事業内容 溪間工2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	35,000千円	
	総便益（B）	7,238千円	
	水源かん養便益 山地保全便益 環境保全便益 災害防止便益 計	千円 202千円 45,296千円 52,736千円	
	分析結果（B/C）	1.51	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：溪流に多量の不安定土砂が堆積しており、放置すれば土砂の流出が懸念されることから、下流域の保全など保安林機能の発揮のため当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性：事業の実施により溪床の不安定土砂の安定により、下流域の保全等が図られことから、事業の有効性が認められる。</li> <li>・効率性：対策工の計画にあたっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法が検討されており効率性が認められる。</li> </ul>			

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	栄地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局函館分局 渡島森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は日本海に注ぐ太櫓川上流域に位置しており、新第三紀層の脆弱な地質のため、融雪及び集中豪雨により渓流の荒廃が拡大し、今後の降雨等で下流域の人家、農地等に被害を与える恐れが大きい。 このため床固工等の治山事業を実施し、荒廃渓流の復旧を図り民生の安定に寄与する。</p> <p>主な事業内容 床固工2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	4,000千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 2,659千円 山地保全便益 4,487千円 環境保全便益 202千円 災害防止便益 千円 計 7,348千円	
	分析結果（B/C）	18.37	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：渓流に多量の不安定土砂が堆積しており、放置すれば土砂の流出が懸念されることから、下流域の保全など保安林機能の発揮のため当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性：事業の実施により溪床の不安定土砂の安定により、下流域の保全等が図られことから、事業の有効性が認められる。</li> <li>・効率性：対策工の計画にあたっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法が検討されており効率性が認められる。</li> </ul>		



## 事前評価個表

事業名	複層林型保安林整備推進(国有林)	事業計画期間	平成15年度～平成17年度(3年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	上の沢地区 (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局函館分局 檜山森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は日本海に注ぐ天の川上流域に位置しており、現地はチシマザサに被われ疎林化しているため、水源かん養機能が低下している地区である。 チシマザサ地帯の森林の再生には、地表かき起こし、植込を施工し、早期に天然立木との複層林を造成し、水土保全機能の向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 地拵 30ha 植込 30ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	52,848千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	112,548千円
		山地保全便益	174,198千円
		環境保全便益	4,260千円
		計	291,006千円
	分析結果(B/C)	5.51	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：笹により天然更新が妨げられ疎林化し、水土保全機能が低下していることから、地表かき起こし、植込等を施工することにより、早期に複層林を造成して水土保全機能の向上を図る</li> <li>・有効性：事業実施によって複層林を造成することにより、水源かん養機能の向上が図られる。</li> <li>・効率性：作業の計画にあたっては、現地に合った最も効果的かつ効率的な方法が検討されている。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15～平成19年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	堀内沢地区 （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 米代東部森林管理署上小阿仁支署
事業の概要・目的	<p>当該地区は阿仁町東部に位置し、集中豪雨等により山腹崩壊が多数発生し、大量の不安定土砂が溪床に堆積し、豪雨の都度溪岸浸食が発生し土砂が下流に流出していた。 このため、溪床の不安定土砂の流出防止を図り、保安林機能の増進を図るものである。</p> <p>主な事業内容 谷止工 3基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	50,210 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	130,502 千円
		山地保全便益	86,158 千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
		計	216,660 千円
	分析結果（B/C）	4.32	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば下流に流出する懸念があることから、保安林機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 また、地元阿仁町からも施設整備の要望が出されている。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、土砂の安定など下流域の保全等が図られることから、事業の有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	予防治山（国有林）	事業計画期間	平成15～平成17年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	夜明島川地区 （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 米代東部森林管理署鹿角所
事業の概要・目的	<p>当該地区は鹿角市南部に位置し、平成13年の豪雨により山腹崩壊が多数発生し、土砂及び倒木が溪床に堆積しているため、今後の豪雨により下流にある国道等に流出し被害を及ぼす懸念がある。 このため、溪床の安定とともに流木の流出防止を図り、周辺森林の保安林機能の増進を図るものである。</p> <p>主な事業内容 谷止工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	54,114 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	126,461 千円
		山地保全便益	82,876 千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
		計	209,337 千円
	分析結果（B/C）	3.87	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 溪床に堆積する流木及び不安定土砂の状況から、放置すれば下流に流出する懸念があることから、保安林機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、流木及び土砂の安定など下流域の保全等が図られることから、事業の有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	複層林型保安林整備推進（国有林）	事業計画期間	平成15～平成18年度（4年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	丸子地区 （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 秋田森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該地区は六郷町東部に位置し、下流には用水の確保や親水空間としての利用等を目的として整備された灌漑ダムがあるが、流域内の森林の多くが過密化し水土保持機能が低下するおそれが懸念されている。</p> <p>このため、流域全体を事業対象区域として、水土保持機能の高度発揮が期待される複層林への早期に移行が図られるよう、植栽、本数調整伐、除伐等の森林整備を実施するものである。</p> <p>主な事業内容 保育：植栽2ha、除伐42ha、本数調整伐64ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	32,568千円	
	総便益（B）	316,812千円	
	水源かん養便益 山地保全便益 環境保全便益 災害防止便益 計	243,414千円 千円 千円 560,226千円	
	分析結果（B/C）	17.20	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 森林の状況から、放置すれば保安林機能が低下する懸念があることから、保安林機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、森林の保全及び保安林機能の向上が図られることから、事業の有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 森林整備の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な方法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	奥地保安林保全対策モデル(国有林)	計画期間	平成15～平成17年度(3年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	蔵王不動滝地区 (山形県)	実施主体	東北森林管理局 山形森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該地区は山形市東部に位置し、スキーや登山で有名な蔵王地域のうち、景勝地である不動滝等に近接しているが、近年の豪雨等により林地崩壊が発生したため、溪流に大量の土砂が流入・堆積し、林地に被害を与えると同時に、森林浴等の森林レクリエーション利用に障害となるおそれがある。しかしながら、景観美に十分に配慮しなければならない本地区においては、従来工法により崩壊地の復旧を行った場合、作業道の作設等により景観の改変が大きくなるため、復旧対策を講ずることが困難であった。</p> <p>このため、本事業により景観の改変を極力少なくしつつ、自然に良くなじむ木材や石材を多用した工法を採用し、保安林機能の増進を図るものである。</p> <p style="text-align: center;">主な事業内容</p> <p style="text-align: center;">山腹工 3.0ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	28,784 千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	19,027 千円
		山地保全便益	19,701 千円
		環境保全便益	44,683 千円
		災害防止便益	千円
		計	83,411 千円
	分析結果(B/C)	2.90	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 蔵王の景勝地である不動滝の近くにあることから、林地崩壊及び溪床の不安定土砂を放置すれば下流に流出する懸念及び景観の保全上問題があり、保安林機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、土砂の安定など下流域の保全及び景観の保全が図られることから、事業の有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地発生材の利用など現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	地すべり防止（国有林）	事業計画期間	平成15～平成18年度（4年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	白糸沢地区 （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 米代東部森林管理署上小阿仁支署
事業の概要・目的	<p>当該地区は森吉町東部に位置し、地すべりにより林地崩壊が発生し、溪流に大量の土砂が流入・堆積し、このままでは、豪雨の都度土砂が多量に下流に流出し、下流の景勝地、宿泊施設、県道等に被害を与える懸念がある。 このため、地すべりによる林地崩壊を復旧し併せて溪床の不安定土砂の流出防止を図り、保安林機能の増進を図るものである。</p> <p style="text-align: center;">主な事業内容 集水井2基、集排水ポンピング、アカー工、杭打工、溪間工2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	572,895 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	182,638 千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	89,366 千円
		災害防止便益	797,670 千円
		計	1,069,674 千円
	分析結果（B/C）	1.87	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 林地崩壊及び溪床の不安定土砂の堆積状況から、放置すれば下流に流出する懸念があることから、保安林機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、土砂の安定など下流域の保全等が図られることから、事業の有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成17年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	清水沢地区 （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局青森分局 津軽森林管理署鱒ヶ沢事務所
事業の概要・目的	<p>当地区は、鱒ヶ沢町の中心部を経て日本海に注ぐ中村川上流部に位置しているが、火山泥流の堆積層からなる脆弱な地質構造であり、豪雨の都度山腹斜面の崩壊により森林の被害、崩壊土砂の流出が発生していた。 このため、崩壊等により溪床に堆積する不安定土砂の流出防止及び溪岸の浸食防止に資する溪間工を実施し、水土保持機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 3基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	131,950	千円
	総便益（B）		
	水源かん養便益	4,431	千円
	災害防止便益	686,948	千円
	計	691,379	千円
	分析結果（B / C）	5.24	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性：当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性：対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法が検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	三ッ目ノ沢地区 （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局青森分局 津軽森林管理署深浦森林管理センター
事業の概要・目的	<p>当地区は、岩崎村中心部を経て日本海に注ぐ笹内川上流部に位置しているが、火山碎屑物の堆積層からなる脆弱な地質構造であり、平成14年に融雪等により山腹が崩落し、多量の土砂が河川に流出した。また、溪床に不安定な状態で土砂が堆積していたため、下流への土砂流出を防止するうえで緊急を要することから山林施設災害関連事業により鋼製床固工を2基施工し、不安定土砂の安定を図った。</p> <p>しかしながら、施工地の下流部にも不安定土砂が大量に堆積しており、その土砂の流出が懸念される。</p> <p>このため、崩壊等により溪床に堆積する不安定土砂の流出防止及び溪岸の浸食防止に資する溪間工を実施し、水土保持機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	67,885 千円	
	総便益（B）		
	水源かん養便益	17,576 千円	
	災害防止便益	427,295 千円	
	計	444,871 千円	
	分析結果（B/C）	6.55	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法が検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		



## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	西股沢地区 （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局青森分局 下北森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、大畑町中心部を経て津軽海峡に注ぐ大畑川上流部に位置しているが、火山砕屑物の堆積層からなる脆弱な地質構造であり、山腹斜面の崩壊等により溪床に堆積していた不安定土砂及び流木が豪雨等により海まで流出し、漁業に被害を与える災害が発生した。 このため、崩壊等により溪床に堆積している流木の流出防止及び溪岸の浸食防止に資する溪間工を実施し、水土保持機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 3基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	57,692	千円
	総便益（B）		
	水源かん養便益	3,250	千円
	災害防止便益	640,688	千円
	計	643,938	千円
	分析結果（B/C）	11.16	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する流木及び不安定土砂の状況から、放置すれば崩壊地の拡大及び流木の流出等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法が検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	一ノ松沢地区 （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局青森分局 三八上北森林管理署三戸事務所
事業の概要・目的	<p>当地区は、八戸市外5町村を経て太平洋に注ぐ馬淵川上流部に位置しているが、火山砕屑物の堆積層からなる脆弱な地質構造であり、豪雨の都度山腹斜面の崩壊により森林の被害、崩壊土砂の流出が発生していた。 このため、崩壊等により溪床に堆積する不安定土砂の流出防止及び溪岸の浸食防止に資する溪間工を実施し、水土保持機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	10,096 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 3,513 千円 災害防止便益 127,791 千円 計 131,304 千円	
	分析結果（B / C）	13.01	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法が検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成16年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	石浜沢地区 （岩手県）	事業実施主体	東北森林管理局青森分局 三陸北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、陸中海岸に注ぐ小河川の上流部に位置しているが、土質は、比較的安定した地質を呈しているものの土層深度が浅いため豪雨の都度山腹斜面の崩壊により森林の被害、崩壊土砂の流出が発生したことから、昭和59年度溪間工を施工し不安定土砂の安定を図った。 しかし、その後の山腹崩壊等による土砂により溪間工が満砂になり、その土砂の流出が懸念される。 このため、崩壊等により溪床に堆積する不安定土砂の流出防止及び溪岸の浸食防止に資する溪間工を実施し、水土保持機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	76,886 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 5,701 千円 災害防止便益 415,590 千円 計 421,291 千円	
	分析結果（B / C）	5.48	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法が検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成17年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	泥梅沢地区 （岩手県）	事業実施主体	東北森林管理局青森分局 三陸北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、陸中海岸に注ぐ湯草沢上流部に位置しているが、土質は、比較的安定した地質を呈しているものの土層深度が浅いため豪雨の都度山腹斜面の崩壊により森林の被害、崩壊土砂の流出が発生した。 このため、崩壊等により溪床に堆積する不安定土砂の流出防止及び溪岸の浸食防止に資する溪間工を実施し、水土保持機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 3基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	72,117	千円
	総便益（B）		
	水源かん養便益	5,393	千円
	災害防止便益	630,301	千円
	計	635,694	千円
	分析結果（B / C）	8.81	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法が検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成16年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	鎌内沢地区 （宮城県）	事業実施主体	東北森林管理局青森分局 宮城北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、江合川上流部に位置し、下流には古川市外1市6町村の水源である鳴子ダムがあるが、火山碎屑物の堆積層からなる脆弱な地質構造であり、豪雨の都度山腹斜面の崩壊により森林の被害、崩壊土砂の流出が発生した。 このため、崩壊等により溪床に堆積する不安定土砂の流出防止及び溪岸の浸食防止に資する溪間工を実施し、水土保持機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	58,432千円	
	総便益（B）	<p>水源かん養便益 8,329千円</p> <p>山地保全便益 293,387千円</p> <p>計 301,716千円</p>	
	分析結果（B/C）	5.16	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性：当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性：対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法が検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備促進(国有林)		事業計画期間	平成15年度～平成19年度(5年間)									
事業実施地区名 (都道府県名)	久吉地区 (青森県)		事業実施主体	東北森林管理局青森分局 津軽森林管理署									
事業の概要・目的	<p>当地区は、岩木川上流部に位置し、下流には碓ヶ関村の水源である久吉ダムがあり、岩木川は弘前市ほか11市町村の水源になっているが、火山泥流の堆積層からなる脆弱な地質構造であり、森林の過密化により下層植生が衰退し豪雨の都度土砂の流出が見られ、山腹斜面の崩壊も発生していた。 このため、山腹工による崩壊地の復旧整備、森林整備等を総合的に実施し、水土保全機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>山腹工</td> <td>0.2</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>本数調整伐</td> <td>138</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>管理歩道</td> <td>2,000</td> <td>m</td> </tr> </table>				山腹工	0.2	ha	本数調整伐	138	ha	管理歩道	2,000	m
山腹工	0.2	ha											
本数調整伐	138	ha											
管理歩道	2,000	m											
費用対効果分析	総費用(C)	69,818 千円											
	総便益(B) 水源かん養便益	357,339 千円											
	計	357,339 千円											
	分析結果(B/C)	5.12											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、森林の過密化等により水土保全機能が低下している状況から、放置すれば崩壊地の拡大や林床土壌の流出等が懸念されることから、水土保全機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、林内の下層植生の回復が図られ、水土保全機能が維持・向上されることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法が検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>												

## 事前評価個表

事業名	複層林型保安林整備推進(国有林)	事業計画期間	平成15年度～平成17年度(3年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	豊沢川地区 (岩手県)	事業実施主体	東北森林管理局青森分局 岩手南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、北上川上流部に位置し、下流には花巻市の水源である豊沢ダムがあることや花巻温泉郷に近接していることから、水資源の確保上重要な地域であるが、森林の過密化等により水土保持機能が低下し、山腹崩壊や土砂等の流出を発生させる恐れがある。</p> <p>このため、過密化の進んだ保安林については、下層植生の成長促進と立木の生育の健全化を図り、森林の機能を継続的に発揮することが出来る複層林へ誘導し、水土保持機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容  本数調整伐 50 ha  作業道 2,000 m</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	31,250	千円
	総便益(B) 水源かん養便益	93,425	千円
	計	93,425	千円
	分析結果(B/C)	2.99	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 森林の過密化等により水土保持機能が低下している状況から、放置すれば山腹の崩壊や土砂等の流出を発生させることが懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、下層植生の成長促進と立木の生育の健全化が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法が検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		





## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	横川地区 （福島県）	事業実施主体	関東森林管理局 磐城森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は請戸川～夏井川、太田川上流に位置した北海道沢である。下流には横川ダムがあり、下流原町市の水資源確保上重要な地域である。当流域は溪床が荒廃しており、豪雨の都度、土砂が流出している。このため、治山ダムを4基計画したところであるが、計画箇所までの資材の運搬が困難であることから、資材運搬路作設後、治山ダムを施工し、荒廃溪床を復旧し、民生安定とあわせて保安林機能の向上を図るものである。</p> <p>・主な事業内容  溪間工 4基  資材運搬路作設 2,000m</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	213,426千円	
	総便益（B）	4,516千円	
	水源かん養便益 山地保全便益 環境保全便益 災害防止便益 計	 千円 千円 393,986千円 398,502千円	
	分析結果（B/C）	1.87	
評価結果	<p>必要性： 溪床に堆積する不安定土砂を放置すれば崩壊地の発生も懸念され、水土保持機能の維持向上のため、当事業の実施が必要である。</p> <p>有効性： 当事業の実施により、資材運搬路が確保され、治山ダムの施工を実施することにより、荒廃溪床の復旧が図られ、水土保持機能の維持、向上されることから、有効性は認められる。</p> <p>効率性： 計画に当たっては、現地の地形を考慮し、最も効果的な路線選定をしており、効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成17年度（3年間）				
事業実施地区名 （都道府県名）	神楽山地区 （福島県）	事業実施主体	関東森林管理局 磐城森林管理署				
事業の概要・目的	<p>当地区は夏井川～茨城県境、夏井川上流に位置したカワグルミ沢である。下流には夏井渓谷県立自然が位置しており、自然探勝地となっている。また、いわき市では、農業用水として利用しており、水資源確保上重要な地域である。</p> <p>このため、治山ダムを2基計画したところであるが、計画箇所までの資材の運搬が困難であることから、資材運搬路作設後、治山ダムの施工を実施し、荒廃渓床を復旧し、民生安定と併せて保安林機能の向上を図るものである。</p> <p>・主な事業内容</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>渓間工</td> <td>2基</td> </tr> <tr> <td>資材運搬路作設</td> <td>500m</td> </tr> </table>			渓間工	2基	資材運搬路作設	500m
渓間工	2基						
資材運搬路作設	500m						
費用対効果分析	総費用（C）	74,722千円					
	総便益（B）	1,807千円					
		千円					
	水源かん養便益	1,807千円					
	山地保全便益	千円					
	環境保全便益	千円					
	災害防止便益	262,657千円					
	計	264,464千円					
	分析結果（B/C）	3.54					
評価結果	<p>必要性： 渓床に堆積する不安定土砂を放置すれば崩壊地の発生も懸念され、水土保持機能の維持向上のため、当事業の実施が必要である。</p> <p>有効性： 当事業の実施により、資材運搬路が確保され、治山ダムの施工を実施することにより、荒廃渓床の復旧が図られ、水土保持機能の維持、向上されることから、有効性は認められる。</p> <p>効率性： 計画に当たっては、現地の地形を考慮し、最も効果的な路線選定をしておき、効率性は認められる。</p>						

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成18年度（4年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	青沢地区 （福島県）	事業実施主体	関東森林管理局 磐城森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は請戸川～夏井川、大川原上流に位置した青沢である。下流には坂下ダムがあり大熊町の水資源確保上重要な地域である。当流域は溪床が荒廃しており豪雨の都度、流出が流出している。このため、治山ダムを3基計画したところであるが、計画箇所までの資材の運搬が困難であることから、資材運搬路作設後、治山ダムの施工し、荒廃溪床を復旧し、民生安定と併せて保安林機能の向上を図るものである。</p> <p>・主な事業内容  溪間工 3基  資材運搬路作設 2,000m</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	223,877千円	
	総便益（B）	3,576千円	
	水源かん養便益 山地保全便益 環境保全便益 災害防止便益 計	 千円 千円 367,721千円 371,297千円	
	分析結果（B/C）	1.66	
評価結果	<p>・必要性： 溪床に堆積する不安定土砂を放置すれば崩壊地の発生も懸念され、水土保持機能の維持向上のため、当事業の実施が必要である。</p> <p>・有効性： 当事業の実施により 資材運搬路が確保され、治山ダムの施工を実施することにより荒廃溪床の復旧が図られ、水土保持機能の維持、向上されることから、有効性は認められる。</p> <p>・効率性： 計画に当たっては、現地の地形を考慮し、最も効果的な路線選定をしており、効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林管理道整備（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成17年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	黒南地区 （福島県）	事業実施主体	関東森林管理局 福島森林管理署
事業の概要・目的	<p>本地域は福島県の東部、阿武隈川支流谷田川の流域である。当該地域の森林は、過密化し水土保持機能が著しく低下しており、表土の流出による崩壊が、発生する恐れがあるため、保安林整備事業を実施する必要があり、保安林管理道を作設し、森林整備等の効率的な実施を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 保安林管理道 1,700m</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	90,040千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	271,787千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	59,923千円
		計	331,710千円
	分析結果（B/C）	3.68	
評価結果	<p>・必要性：過密化林分を放置することにより表土の流出が懸念されることから、水土保持機能の維持、向上のために当事業の実施が必要である。</p> <p>・有効性：当事業の実施により、路網の整備が確保され、森林整備の効率的な実施が図られ、水土保持機能の維持、向上が期待できることから、有効性は認められる。</p> <p>・効率性：計画に当たっては、現地の地形を考慮し、最も効果的な路線選定をしており、効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林管理道整備（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成17年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	新屋地区 （新潟県）	事業実施主体	関東森林管理局 下越森林管理署村上支署
事業の概要・目的	<p>本地域は新潟県の北部、三面川流域に位置している。当該地域の森林は、過密化し水土保持機能が著しく低下しており、表土の流出による崩壊が発生する恐れがあるため、保安林整備事業を実施する必要がある。保安林管理道を作設し、森林整備等の効率的な実施を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 保安林管理道 2,000m</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	74,304千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	228,719千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	68,301千円
		計	297,020千円
	分析結果（B/C）	4.00	
評価結果	<p>必要性：過密化分を放置することにより表土の流出が懸念されることから、水土保持機能の維持、向上のために当事業の実施が必要である。</p> <p>有効性：当事業の実施により路網の整備が確保され、森林整備の効率的な実施が図られ、水土保持機能の維持、向上が期待できることから有効性は認められる。</p> <p>効率性：計画に当たっては、現地の地形を考慮し、最も効果的な路線選定をしており、効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	物倉沢地区 （福島県）	事業実施主体	関東森林管理局 磐城森林管理署原町事務所
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、相馬市市街を流れる宇多川水系に属し、中流域の物倉集落地内で、左岸側から合流しているジュウロウ沢の左岸支流であり、流域の稜線部に開設されている物倉林道の直上部に位置している。区域内には現在不安定土砂堆積しており、これらの堆積土砂の流出により下流地域の保全対象に土砂被害を与える危険性がある。このため、不安定土砂の移動及び縦横侵食を防止し、渓床、渓岸の安定させることにより、保安林機能の向上と併せて民生安定を図るものである。</p> <p>・主な事業内容  渓間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	42,405千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	8,545千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	78,796千円
		計	87,341千円
	分析結果（B / C）	2.06	
評価結果	<p>必要性：降雨により渓床に堆積する不安定土砂の流出も見られるため、民生安定上当事業の実施が必要である。</p> <p>有効性：当事業の実施により、渓床に堆積する土砂の安定が図られるとともに、水土保持機能の維持、向上されることから、有効性は認められる。</p> <p>効率性：計画に当たっては、現地に応じ最も効果的かつ効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	四ツ沢地区 （福島県）	事業実施主体	関東森林管理局 会津森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、大川上流見明山地区にあたり、県道舟ヶ鼻・下郷線沿いに流れる戸石川に流れ込む支流の上流部に位置する。ここ数年に渡り、集中豪雨等の際に溪床の不安定土砂を流出させ、林道及び下流域に被害を及ぼしている。今後の更なる流出被害を防止、溪床の安定を図るため溪間工を実施し、保安林機能の向上と併せて民生安定を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	16,380千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 12,489千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 26,265千円 計 38,754千円	
	分析結果（B/C）	2.37	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 溪床に不安定土砂の堆積があり、降雨による土砂の流出もみられることから過去に下流へ被害を及ぼした経緯もあることから、当該事業の実施は必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、溪床に堆積する土砂の安定が図られ、水土保持機能が維持、向上されることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 計画に当たっては、現地に応じ最も効果的効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	なだれ防止林造成(国有林)	事業計画期間	平成15年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	弥生地区( ) (福島県)	事業実施主体	関東森林管理局 会津森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、阿賀野川流域西会津地区久良谷川にあたり、町道極入弥生線の直上に位置する。過去より融雪期にはなだれが発生し、当地区の唯一の生活道路である町道に度々通行被害を与えてきた。地元西会津町より強い治山施設設置要請があることから、住民の民心の安定に寄与するため山腹工を計画するものである。</p> <p>・主な事業内容 鋼製なだれ柵工</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	22,000千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	10,609千円
		山地保全便益	2,251千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	52,531千円
		計	65,391千円
	分析結果(B/C)	2.97	
評価結果	<p>・必要性： 計画箇所直下に生活である町道が通過しており、これまでになだれによる通行止めが何度かあった箇所である。地元西会津町からの強い要望もあり、当事業の実施が必要である。</p> <p>・有効性： 当該事業の実施により、町道の通行止めも回避され、民心安定が期待されることから有効性は認められる。</p> <p>・効率性： 計画に当たっては、現地に応じ最も効果的効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。</p>		



## 事前評価個表

事業名	なだれ防止林造成（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	弥生地区（ ） （福島県）	事業実施主体	関東森林管理局 会津森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、阿賀野川流域西会津地区久良谷川にあたり、町道極入弥生線の直上に位置する。過去より融雪期にはなだれが発生し、当地区の唯一の生活道路である町道に度々通行被害を与えてきた。地元西会津町より強い治山施設設置要請があることから、住民の民心の安定に寄与するため山腹工を計画するものである。</p> <p>・主な事業内容 丸太柵工・植栽工</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	15,000千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 9,095千円 山地保全便益 1,930千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 52,531千円 計 63,556千円	
	分析結果（B / C）	4.24	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 計画箇所直下に生活道である町道が通過しており、これまでになだれによる通行止めが何度かあった箇所である。地元西会津町からの強い要望もあり、当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当該事業の実施により、町道の通行止めも回避され、民心安定が期待されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 計画に当たっては、現地に応じ最も効果的効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	市野萱沢地区 （群馬県）	事業実施主体	関東森林管理局 群馬森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、群馬の最西端部に位置し、鐺川支流市野萱沢の最上流部に当たる。山腹・渓流崩壊の発生により渓床には多量の不安定土砂や流木が堆積している。今後の降雨により、それらの流出に伴い下流域に被害が拡大する恐れがあるため、荒廃渓流の復旧を実施し、保安林機能の向上と併せ民生安定を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 渓間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	16,800千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 9,323千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 25,398千円 計 34,721千円	
	分析結果（B/C）	2.07	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 渓床に不安定土砂の堆積があり、降雨による土砂の流出もみられることから過去に下流へ被害を及ぼした経緯もあることから、当該事業の実施は必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、渓床に堆積する土砂の安定が図られ、水土保持機能が維持、向上されることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 計画に当たっては、現地に応じ最も効果的効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成18年度（4年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	十石沢地区 （群馬県）	事業実施主体	関東森林管理局 群馬森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、群馬県南西部に位置し、神流川支流黒川の最上流部十石沢に当たり、山腹崩壊の発生により、溪床には不安定土砂や流木が堆積している。今後の降雨等により、それらの流出に伴い下流域に被害が拡大する恐れがあるため、荒廃溪流の復旧を実施し、保安林機能の向上と併せ、民生安定を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 溪間工 4基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	161,551千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 33,466千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 253,998千円 計 287,464千円	
	分析結果（B/C）	1.78	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 溪床に不安定土砂の堆積があり、降雨による土砂の流出もみられることから過去に下流へ被害を及ぼした経緯もあることから、当該事業の実施は必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、溪床に堆積する土砂の安定が図られ、水土保持機能が維持、向上されることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 計画に当たっては、現地に応じ最も効果的効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成16年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	三階滝地区 （新潟県）	事業実施主体	関東森林管理局 下越森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、五頭連峰南西に位置する中ノ沢流域にあたる。度重なる山腹崩壊の発生に伴い下流既設溪間工が満砂状態となり、溪床には不安定土砂が堆積している。今後、降雨による不安定土砂の流出に伴い下流域に被害を及ぼすことが懸念されるため、不安定土砂を安定させ、保安林機能の向上とあわせ民生安定を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	75,458千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 3,132千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 248,455千円 計 251,587千円	
	分析結果（B/C）	3.33	
評価結果	<p>必要性：降雨により溪床に堆積する不安定土砂の流出も見られるため、民生安定上当該事業の実施は必要である。</p> <p>有効性：当事業の実施により、溪床に堆積する土砂の安定が図られるとともに、水土保持機能の維持、向上されることから、有効性は認められる。</p> <p>効率性：計画に当たっては、現地に応じ最も効果的かつ効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	雄川地区 （群馬県）	事業実施主体	関東森林管理局 群馬森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、群馬県南西部に位置し、鎭川支流雄川上流部に当たり、集中豪雨等の影響により山腹崩壊地が発生したもので山腹には、不安定土砂等が堆積している。今後降雨により、それらの流出に伴い下流域に被害が拡大する恐れがあるため、早期に山腹工を施工し山腹崩壊地の復旧を行い、保安林の水源かん養機能の向上と併せ民生安定を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 山腹工 0.05ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	7,000千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 2,654千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 25,398千円 計 28,052千円	
	分析結果（B/C）	4.01	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：山腹崩壊地の拡大も見られ、降雨による下流への土砂流出も見られる、水土保持機能維持、向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性：当事業の実施により、水土保持機能が維持、向上されることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性：計画に当たっては、現地に応じ最も効果的効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	生活環境保全林整備（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	乙地区 （新潟県）	事業実施主体	関東森林管理局 下越森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、胎内川下流の中条町大出地区に位置する保安林指定地域であり、大出地区住民や農地等を飛砂の害から保全するとともに、自然観察林（レク森）の野外学習の場等としても多くの人に利用されている。</p> <p>しかし、林内は雑灌木等の繁茂によりうっ閉している箇所及びアカマツの枯損により疎林となっている箇所が混在し、飛砂防備機能等が著しく低下している。このため、保安林を整備し水土保全機能をはじめとする森林の有する多目的機能の高度な発揮を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 本数調整伐 12ha・除伐2ha・植栽工2ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	71,325千円	
	総便益（B）		
	水源かん養便益	千円	
	山地保全便益	千円	
	環境保全便益	166,768千円	
	災害防止便益	千円	
	計	166,768千円	
	分析結果（B/C）	2.34	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 水土保全機能の維持、生活環境の保全・形成等の観点から当事業の必要性は認められる</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、水土保全機能が維持、向上されることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 計画に当たっては、現地に応じ最も効果的効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	複層林型保安林整備推進（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	深沢地区 （栃木県）	事業実施主体	関東森林管理局 群馬森林管理署大間々事務所
事業の概要・目的	<p>当地区は、渡良瀬川上流足尾地区である。林内が疎林となっており、今後未立木地の拡大が懸念されるため、早期に森林整備等を実施し将来にわたって森林の機能を発揮していくため、複層林への誘導を計画的に推進し、水土保持機能の維持、向上を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 植栽工 5,000本、木製土留工 1,000m</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	133,560千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	772,942千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	44,949千円
		計	817,891千円
	分析結果（B/C）	6.12	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 水土保持機能維持、向上のため当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、水土保持機能が維持、向上されることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 計画に当たっては、現地に応じ最も効果的効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	奥地保安林保全対策モデル(国有林)	事業計画期間	平成15年度～平成16年度(2年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	内野地区 (群馬県)	事業実施主体	関東森林管理局 群馬森林管理署大間々事務所
事業の概要・目的	<p>当地区は、渡良瀬川上流内野地区の奥地保安林である。林内に小崩壊地が点在しており、年々拡大している。崩壊地は林道等から離れているため、施工条件が厳しく、人力による森林整備と簡易な山腹工事を施工し、保安林の水土保持機能の維持、向上を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 法枠併用丸太筋工 0.10ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	15,692千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	43,635千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
		計	43,635千円
	分析結果(B/C)	2.78	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 水土保持機能維持、向上のため当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、水土保持機能が維持、向上されることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 計画に当たっては、現地に応じ最も効果的効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。</li> </ul>		



## 事前評価個表

事業名	地域総合防火対策治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成18年度（4年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	勝浦地区 （千葉）	事業実施主体	関東森林管理局東京分局 千葉森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>当地区は、勝浦市北西に位置し、南側は人家が集中し、西側には勝浦ダムがあり、年々ハイキング等の入り込み者が多くなってきている。国有林の隣接地は田畑、奥地は休耕田も散在し、民地との境界が複雑で、過去に林野火災の多い地域である。</p> <p>したがって、林野火災の未然防止を図ることと併せ局所的に防火樹帯の造成、監視施設の設置といったソフト・ハード両面から出火抑制を行う。また、管理車道及び管理歩道を新設する等、延焼拡大を抑制すると共に、初期消火により森林の焼失面積を最小限にとどめ、林野火災に対し、耐火性の強い森林を造成するものである。</p> <p>主な事業内容</p> <p>防火管理道新設1,100m、防火管理歩道新設1,350m、防火樹帯設置650m<sup>2</sup> 森林整備 132ha（本数調整伐、除伐）ほか</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	126,721 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 1,176,206 千円	
		山地保全便益 742,972 千円	
		環境保全便益 34,407 千円	
	計	1,953,585 千円	
	分析結果（B/C）	15.42	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：林野火災に対し、未然防止を図るため局所的に防火樹帯の造成を図るまた、管理車道等の新設により延焼拡大を抑制し、森林の焼失面積を最小限にとどめ、林野火災に対し耐火性の強い森林を造成するため、当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性：当事業の実施により、森林の造成・管理車道等の新設・施設の整備が図られ、森林の公益的機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性：対策工の計画に当たって、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	生活環境保全林整備（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成17年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	踊り子地区 （静岡）	事業実施主体	関東森林管理局東京分局 伊豆森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は伊豆半島の中央部に位置し、「昭和の森・天城山自然休養林」に指定されている。旧414号線は、踊り子歩道として、年間多くの入り込み者が近隣都市から訪れる憩いの場となっている。</p> <p>この事業は国土保全・保健機能・森林教育環境を総合的に発揮し、修景工を行い、快適な森林空間を提供し、国民生活の安定、向上させるエリアの提供として事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容</p> <p>自然林造成工                      自然林改良（A）                      自然林改良（B） （自然林誘導工 1.70ha）      （大苗木植栽工 6.0ha）      （誘導伐 10ha）</p> <p>作業施設      歩道修理 4.0kmほか</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	105,782千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	621,915千円
		山地保全便益	227,234千円
		環境保全便益	907,622千円
		計	1,756,771千円
	分析結果（B/C）	16.61	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：事業地は「昭和の森・天城山自然休養林」に指定され、年間多くのハイカーが訪れている。当事業において、自然林の造成を図り、憩いの場としてのハイキング歩道等の施設を整備する。森林の有する多面的な機能の維持・向上のため、当事業の実施が必要である</li> <li>・有効性：当事業の実施により、修景工を行い、施設の整備、森林の公益的機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性：対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	複層林型保安林整備推進（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成16年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	益子地区 （栃木）	事業実施主体	関東森林管理局東京分局 茨城森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、益子町の南西に位置しており、林令9～56年のスギ、ヒノキ、アカマツ林が過密状態となっており、地表植生の消滅等から、水土保持機能が低下している保安林である。</p> <p>この事業は、過密化した保安林について、複層林への誘導・造成を図るものであり、本数調整伐の実施により、下層植生の成長促進と立木の生育の健全化を図り、保安林機能を継続的に発揮していくため実施するものである</p> <p>主な事業内容 本数調整伐 145ha、植栽工 18ha 山腹工 0.56ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	48,928千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 298,056千円 災害防止便益 353,803千円	
	計	651,859千円	
	分析結果（B/C）	13.32	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：当事業において、過密化の進行した保安林について、森林の有する多面的な機能を継続的に発揮させるため当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性：当事業の実施により、本数調整伐等を行い、森林の公益的機能が維持向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性：対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	複層林型保安林整備推進（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成17年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	八丁地区 （静岡）	事業実施主体	関東森林管理局東京分局 伊豆森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、伊豆半島に位置し、「昭和の森、天城自然休養林」に指定されている。林内には、スギ、ヒノキが植栽され、過密状態で地表植生が無く、水土保持機能が低下している保安林である。</p> <p>この事業は、過密化した保安林について、複層林への造成、誘導を図るものである。このことから、本数調整伐などを実施し、下層植生の成長促進と立木の生育の健全化を図り、保安林機能を継続的に発揮していくため実施するものである</p> <p>主な事業内容  本数調整伐 192ha、植栽工 8ha 山腹工 0.68ha  歩道補修 4.0km</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	58,738千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 485,521千円 災害防止便益 250,919千円 環境保全便益 537,055千円	
	計	1,273,495千円	
	分析結果（B/C）	21.68	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：当事業において、森林整備等を実施することによって、森林の有する多面的な機能を継続的に発揮させるため当事業の実施が必要である</li> <li>・有効性：当事業の実施により、森林整備等を行い、森林の公益的機能が維持向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性：対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	奥地保安林保全対策モデル(国有林)	事業計画期間	平成15年度～平成19年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	都沢地区 (静岡)	事業実施主体	関東森林管理局東京分局 天竜森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、水窪町の南西に位置しており、林令20年位の人工林で、局所的に崩壊地が発生している。施工地は林道上部に位置し、破碎岩で脆く崩れ易い箇所である。</p> <p>この事業は、奥地保安林において、事業を効果的に実施し、従来工法に比べ簡易工法(丸太法梓工、木柵工)で、奥地保安林の保全対策に資するため、実施するものである。</p> <p>主な事業内容</p> <p>山腹工 1.25ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	94,173千円	
	総便益(B)	水源かん養便益 190,941千円 災害防止便益 138,704千円	
		計 329,645千円	
	分析結果(B/C)	3.50	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：当事業において、崩壊地の復旧を図ることにより、拡大を防止し、森林の持つ多面的な機能の維持・向上のため、当事業の実施が必要である</li> <li>・有効性：当事業の実施により、森林の造成を行い、森林の公益的機能が維持向上されることから有効性は認められる。</li> </ul> <p>効率性：対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成17年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>とちがわ</small> 栃川地区 （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 北信森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、平成14年7月10日大型で強い勢力の台風6号による大雨により被災した箇所であり、渓流内に不安定土砂が多く残留している。 今後の融雪や降雨により、土石流が発生し、下流域へ被害を与える危険性が極めて高いことから、早期に渓間工を施工し、荒廃渓流の復旧を図るものである。</p> <p>主な事業内容    渓間工    3基                          山腹工    0.3ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	115,811	（千円）
	総便益（B）	水源かん養便益	181,521    （千円）
		災害防止便益	166,917    （千円）
	計	348,438	（千円）
	分析結果（B/C）	3.01	
評価結果（案）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：台風による異常出水により渓床内の不安定土砂は今後の融雪や降雨により流下し下流域へ甚大な被害を及ぼす危険性があるため、早期に施設の整備をすることにより、下流域の保全と民生の安定を図るとともに、地元生活用水の確保のため当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性：本事業を実施することにより、不安定土砂の抑止、山脚の固定を図るとともに生活に必要な水の確保が安定的にできることから、流域の保全、公益的機能の発揮のうえでも有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性：対策工の計画に当たっては現地の条件に応じた最も効果的かつ効率的な施設の整備が検討されており、整備後は投資費用以上の効果も期待できることから、効率性は大きいと認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	木島山地区 （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 北信森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、平成14年7月10日大型で強い勢力の台風6号に伴う大雨により、山腹崩壊が発生し、上部にある北志賀林道に被害を与えた箇所である。今後の融雪、降雨等により、崩壊が更に拡大し、林道の破壊、土砂の流出により下流域へ被害を与える危険性が高いことから、早期に山腹工を施工し、崩壊地の復旧を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.10 ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	6,731	（千円）
	総便益（B）	水源かん養便益	12,867（千円）
		災害防止便益	7,948（千円）
		計	20,815（千円）
	分析結果（B/C）	3.09	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：早期に復旧することにより拡大崩壊を抑え、土砂生産源からの土砂の流出を抑制し、下流域の保全を図る。また早期に林地化を図り公益的機能を高度に発揮させるためにも当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性：今後の融雪、降雨により拡大崩壊が危惧されることから、本事業を早期に実施することにより投入工事額の軽減、林道の機能維持を図ることができ、下流域の保全が図れることから有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性：対策工の検討に当たっては現地状況に最も効果的かつ効率的な工種・工法が計画されており、整備後は投資費用以上の効果も期待できることから十分な効率性があると認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>ふかざわかわ</small> 深沢川地区 （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 東信森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、大崩壊地（黒ザレ）の直下に位置し、現在3本の沢を主に下流部へ土砂礫が流下している。沢の底部及び両岸の殆どは崩落地から流下した土砂堆積地であり、流水浸食に弱く僅かな量の流水によっても浸食されてしまう。渓流内の浸食・堆積状況は不規則で上流部には不安定土砂礫が堆積しており、これらが一度に流下すると幹線林道湯の丸高峰線を巻き込むほか、下流崩壊地と相まってさらに下流域に被害を及ぼす影響があることから、渓間工の施工により縦横浸食の防止と不安定土砂の現地固定を図るものである。</p> <p>主な事業内容 渓間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	5,385（千円）	
	総便益（B）	水源かん養便益	251（千円）
		災害防止便益	74,745（千円）
		計	74,996（千円）
	分析結果（B/C）	13.93	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：上流部からの流下土砂が不安定に堆積しており、直下にある幹線林道等に被害を与える危険性が高まったことから実施する事業で、必要性は認められる。</li> <li>・有効性：本事業の実施により直下の幹線林道等保全対象の保全が図られ、土石流災害の未然防止による民生の安定、各種事業の継続実施が確保でき、有効性は認められる。</li> <li>・効率性：対策工の検討に当たっては現地状況に最も効果的かつ効率的な工種・工法が計画されており、費用対効果分析結果からも十分な効率性が認められる。</li> </ul>		



## 事前評価個表

事業名	予防治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>いしどうさわ</small> 石堂沢地区 （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 東信森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、千曲川の支流傍陽川の右岸に面した一帯で標高は600m～1,320mであり、石堂沢が流れ込んでいる。現在、保安林管理道を開設中であり森林整備の促進と荒廃地及び荒廃移行地の計画的かつ経済的な事業の実施を図る地域である。</p> <p>奥地において、荒廃地等から流出した土砂が不安定に堆積しており、下流域に被害を与える危険性が増しつつあり、当地区は山地災害危険地区に指定されていることから、土砂流出を予防して下流域の保全を図る。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	32,692（千円）	
	総便益（B） 水源かん養便益	3,543（千円）	
	災害防止便益	316,087（千円）	
	計	319,630（千円）	
	分析結果（B/C）	9.78	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：経年変化により河床には不安定な堆積土砂が見られ、下流域に被害を与える恐れが高まりつつあることから実施するもので、必要性は認められる。</li> <li>・有効性：不安定土砂の流出防止並びに山脚固定により、森林の持つ水源かん養機能の向上と下流域の保全が図られ、有効性は十分に認められる。</li> <li>・効率性：対策工の実施に当たっては現地の状況に最も効果適かつ効率的な工種・工法が計画されており、費用対効果分析結果からも効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>にしまたさわちゅうりゅう</small> 西股沢中流地区 （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 東信森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、東信地域南部の金峰山西股沢支流に位置し、支流上部に崩壊地があり、集中豪雨、台風通過の都度崩落を引き起こし、溪床内へ不安定土砂が堆積している。</p> <p>このため、不安定土砂の流出防止を図るとともに下流域の保全、保安林機能の増進を図ることを目的とする。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	24,038（千円）	
	総便益（B）	1,019（千円）	
	災害防止便益 計	47,523（千円） 48,542（千円）	
	分析結果（B/C）	2.02	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：集中豪雨等により流送された土砂が溪床に堆積し下流域に被害を与える恐れがあり実施するもので、必要性は認められる。</li> <li>・有効性：本事業の実施により、不安定土砂を抑止して下流域の保全が図られることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性：対策工の検討に当たっては現地状況に最も効果的かつ効率的な工種・工法が計画されており、費用対効果分析結果からも効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>にしまたさわかきゅう</small> 西股沢下流地区 （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 東信森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、東信地域南部の金峰山西股沢支流に位置し、支流上部に崩壊地があり、集中豪雨、台風通過の都度崩壊を引き起こし、溪床内へ不安定土砂が堆積している。</p> <p>既設溪間工も満砂状況であるため、不安定土砂の流出防止とともに下流域の保全、保安林機能の増進を図ることを目的とする。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	36,538（千円）	
	総便益（B）	水源かん養便益	2,715（千円）
		山地保全便益	58,787（千円）
		計	61,502（千円）
	分析結果（B/C）	1.68	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：溪床内に大量な不安定土砂の堆積が見られることから、土砂流出を抑止し下流域の保全へ図るもので、必要性は認められる。</li> <li>・有効性：本事業の実施により、不安定土砂を抑止して下流域の保全が図られることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性：対策工の検討に当たっては現地状況に最も効果的かつ効率的な工種・工法が計画されており、費用対効果分析結果からも効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>おしでさわ</small> 押出沢地区 （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 南信森林管理署飯田事務所
事業の概要・目的	<p>当該地は、昭和35年9月に指定された水源かん養保安林であり、花崗岩のマセ化した脆弱な地質構造に加え、平成12年8月等の豪雨の都度、山腹斜面崩壊及び崩壊の拡大により森林の被害、崩壊土砂の流出が発生している。 このため、崩壊地を山腹工により速やかに復旧、植生を繁茂させ森林の生育基盤を造成し、保安林としての機能発揮を図る。</p> <p>主な事業内容 山腹工 1.04 ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	106,267（千円）	
	総便益（B）	水源かん養便益	26,273（千円）
		災害防止便益	124,323（千円）
	計	150,596（千円）	
	分析結果（B/C）	1.42	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：崩壊地を復旧し、土砂の流出防止と保安林の機能発揮を図るものであり、必要性は十分に認められる。</li> <li>・有効性：山腹工を実施することにより植生回復が図られ、保安林諸機能の回復と土砂流出防止が見込まれることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性：対策工の検討に当たっては現地状況に最も効果的かつ効率的な工種・工法が計画されており、費用対効果分析結果からも効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成20年度（6年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<sup>おがわいり</sup> 小川入16地区 （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 木曾森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該地区は、花崗岩地帯であり地質が脆弱で崩壊が発生している箇所であり、過去の集中豪雨等により河床に不安定土砂も堆積している。下部の上水道施設では豪雨等により汚濁等の被害も発生している。今後集中豪雨により不安定土砂の流出等で下部保全対象に被害を与える危険性が高いため、山腹工及び溪間工により早急に山腹崩壊の復旧と土砂の流出を防止し、下流域の保全を図るものである。</p> <p>主な事業内容  溪間工 6基  山腹工 0.11ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	116,993千円	
	総便益（B）		
	水源かん養便益 25,978千円 災害防止便益 202,142千円 計 228,120千円		
	分析結果（B/C）	1.95	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：崩壊地の発生と、河床内不安定土砂の堆積から、崩壊地の復旧及び土砂流出を防止し下流域の保全を図るもので、必要性は十分に認められる。</li> <li>・有効性：山腹工並びに溪間工を実施することにより植生が回復し、保安林諸機能の回復並びに土砂流出防止が見込まれることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性：対策工の検討に当たっては、現地状況に最も効果的かつ効率的な工種・工法が計画されており、費用対効果分析結果からも効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	複層林型保安林整備推進（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度（5年間）								
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>きたあらかぎ</small> 北 蘭地区 （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 木曽森林管理署南木曽支署								
事業の概要・目的	<p>当地区は長野県南部で木曽川左岸に位置し、花崗岩地帯に加え降水量も多いことから崩壊が発生しやすくなっている。そのため、国土保全・水源かん養・自然環境保全等森林の有する公益的機能の発揮が特に求められる地域である。ついては、現に過密化となっている林分について本数調整伐、植栽等を計画し多様な樹種・樹齢により構成される複層林へと誘導するためにこの事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容</p> <table> <tr> <td>本数調整伐</td> <td>28ha</td> </tr> <tr> <td>地 拵</td> <td>28ha</td> </tr> <tr> <td>植 栽</td> <td>28ha</td> </tr> <tr> <td>下 刈</td> <td>28ha</td> </tr> </table>			本数調整伐	28ha	地 拵	28ha	植 栽	28ha	下 刈	28ha
本数調整伐	28ha										
地 拵	28ha										
植 栽	28ha										
下 刈	28ha										
費用対効果分析	総費用（C）	46,335（千円）									
	総便益（B）	水源かん養便益	111,407（千円）								
		山地保全便益	41,136（千円）								
		計	152,543（千円）								
	分析結果（B/C）	3.29									
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：花崗岩地帯で崩壊地が発生しやすい地域であり、国土保全・水源かん養等の公益的機能を高度発揮させるための事業であり必要性が認められる。</li> <li>・有効性：過密化して保安林機能が低下している林分を多様な樹種・樹齢により構成される複層林へ誘導し、公益的機能を持続的に発揮させるための事業であり有効性が認められる。</li> <li>・効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul>										

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成17年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	弥谷地区 （富山県）	事業実施主体	中部森林管理局名古屋分局 富山森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、上新川郡大山町南西部に位置し、茂住断層をはじめとし、複数の断層の影響を受け、これらに伴う破砕帯もみられる。また、地質的に脆弱なことから、溪岸侵食及び林地の横侵食が進み、豪雨の都度に土石流が発生していた。このため、溪床に堆積している土砂の流出を防止し、下流域の保全及び保安林機能の増進を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 3基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	96,127 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	34,951 千円
		災害防止便益	487,558 千円
		計	522,509 千円
	分析結果（B / C）	5.44	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば土石流の発生が懸念されることから、下流域の保全等のため当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、溪床の不安定土砂の安定等により下流域の保全等が図られることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	寺附地区 （岐阜県）	事業実施主体	中部森林管理局名古屋分局 飛騨森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、大野郡朝日村西部に位置し、平成14年7月の梅雨前線に伴う集中豪雨により、山腹斜面が崩壊し土砂が異常堆積した。降雨の都度斜面侵食が進み、崩壊地が拡大している。</p> <p>このため、山腹崩壊地の拡大を防止し、下流域の保全及び保安林機能の増進を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.21 ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	21,000 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	1,160 千円
		災害防止便益	83,165 千円
		計	84,325 千円
	分析結果（B / C）	4.02	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹斜面の崩壊状況から、放置すれば更に拡大が懸念されることから、下流域の保全等、保安林機能の発揮のため事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 事業の実施により崩壊地の復旧が図られ、下流域の保全等が図られることから有効性が認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		



## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成16年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	黒谷地区 （岐阜県）	事業実施主体	中部森林管理局名古屋分局 飛騨森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、大野郡高根村北部に位置し、火山泥流の堆積層からなる脆弱な地質構造であり、融雪及び豪雨等により溪岸侵食が進み、溪床に不安定土砂が堆積している。</p> <p>このため、溪床に堆積している土砂の流出を防止し、下流域の保全及び保安林機能の増進を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	62,769 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	17,027 千円
		災害防止便益	832,399 千円
		計	849,426 千円
	分析結果（B / C）	13.53	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば土石流の発生が懸念されることから、下流域の保全等のため当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、溪床の不安定土砂の安定等により下流域の保全等が図られることから有効性が認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成18年度（4年間）				
事業実施地区名 （都道府県名）	坂ノ谷地区 （岐阜県）	事業実施主体	中部森林管理局名古屋分局 飛騨森林管理署				
事業の概要・目的	<p>当地区は、吉城郡上宝村北東部に位置し、地質は船津花崗岩類のマサ風化地帯のため、渓床には細礫を交えた流動性の高い土砂が堆積しており、融雪及び豪雨等により不安定土砂が流出した。</p> <p>このため、渓床に堆積している土砂の流出を防止し、下流域の保全及び保安林機能の増進を図るものである。</p> <p>主な事業内容</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>渓間工</td> <td>4基</td> </tr> <tr> <td>山腹工</td> <td>0.2ha</td> </tr> </table>			渓間工	4基	山腹工	0.2ha
渓間工	4基						
山腹工	0.2ha						
費用対効果分析	総費用（C）	113,253 千円					
	総便益（B）	水源かん養便益	13,592 千円				
		災害防止便益	947,886 千円				
		計	961,478 千円				
	分析結果（B / C）	8.49					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 渓床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば土石流の発生が懸念されることから、下流域の保全等のため当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、渓床の不安定土砂の安定等により下流域の保全等が図られることから有効性が認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>						

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成18年度（4年間）				
事業実施地区名 （都道府県名）	三筋谷地区 （岐阜県）	事業実施主体	中部森林管理局名古屋分局 飛騨森林管理署				
事業の概要・目的	<p>当地区は、吉城郡上宝村南東部に位置し、平成11年8月の集中豪雨により、山腹斜面が崩壊し、河床に土砂が異常堆積した。融雪及び降雨の都度斜面侵食が進み、崩壊地が拡大している。</p> <p>このため、山腹崩壊地の拡大及び河床に不安定に堆積している土砂の流出を防止し、下流域の保全及び保安林機能の増進を図るものである。</p> <p>主な事業内容</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>山腹工</td> <td>0.07 ha</td> </tr> <tr> <td>溪間工</td> <td>3 基</td> </tr> </table>			山腹工	0.07 ha	溪間工	3 基
山腹工	0.07 ha						
溪間工	3 基						
費用対効果分析	総費用（C）	84,600 千円					
	総便益（B）	水源かん養便益	3,723 千円				
		災害防止便益	714,420 千円				
		計	718,143 千円				
	分析結果（B / C）	8.49					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊の拡大及び溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば土石流の発生が懸念されることから、下流域の保全等のため当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、溪床の不安定土砂の安定等により下流域の保全等が図られることから有効性が認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>						

## 事前評価個表

事業名	複層林型保安林整備推進（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成17年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	青屋地区 （岐阜県）	事業実施主体	中部森林管理局名古屋分局 飛騨森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、大野郡朝日村北西部に位置し、飛騨川の支流青屋川の水源地帯で水源のかん養上重要な位置にある。しかしながら、林分の過密化により下層植生の消滅等、保安林機能が著しく低下し、山腹崩壊が発生する恐れがある。</p> <p>このため、適切な密度管理を行い、複層林への誘導・造成により保安林機能を高めるものである。</p> <p>主な事業内容      本数調整伐    134.19 ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	35,747 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	545,376 千円
		国土保全便益	35,268 千円
		計	580,644 千円
	分析結果（B / C）	16.24	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 過密化等により水土保持機能が低下しており、人工林の複層林化・針広混交林化を推進するため当事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 当事業の実施により、母樹や植栽木の生育促進が図られることから有効性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 森林の機能回復を図る最も効果的かつ効率的な施業方法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成17年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	小ヶ倉谷小谷地区 （岐阜県）	事業実施主体	中部森林管理局名古屋分局 岐阜森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、益田郡小坂町南部に位置し、平成14年7月の台風7号に伴う豪雨により、山腹斜面が崩壊し、土砂及び倒木が河床に堆積した。 このため、山腹崩壊地の拡大及び河床に不安定に堆積している土砂及び流木の流出を防止し、下流域の保全及び保安林機能の増進を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.17 ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	49,793 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	23,070 千円
		災害防止便益	332,662 千円
		計	355,732 千円
	分析結果（B / C）	7.14	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊の拡大及び溪床に堆積する不安定土砂等の状況から、放置すれば土石流及び流木災害の発生が懸念されることから、下流域の保全等のため当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、溪床の不安定土砂の安定等により下流域の保全等が図られることから事業の有効性が認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	六厩川（赤谷）地区 （岐阜県）	事業実施主体	中部森林管理局名古屋分局 岐阜森林管理署荘川事務所
事業の概要・目的	<p>当地区は、大野郡荘川村北部に位置し、平成14年7月の台風6号に伴う豪雨により、渓岸浸食が進み、河床に土砂が異常堆積した。 このため、河床に不安定に堆積している土砂の流出を防止し、下流域の保全及び保安林機能の増進を図るものである。</p> <p>主な事業内容 渓間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	29,500 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	3,858 千円
		災害防止便益	26,452 千円
		計	30,310 千円
	分析結果（B / C）	1.03	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 渓床に堆積する不安定土砂等の状況から、放置すれば土石流の発生が懸念されることから、下流域の保全等のため当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、渓床の不安定土砂の安定等により下流域の保全等が図られることから有効性が認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	奥地保安林保全対策工（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成17年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	六厩川（大箕谷）地区 （岐阜県）	事業実施主体	中部森林管理局名古屋分局 岐阜森林管理署荘川事務所
事業の概要・目的	<p>当地区は、大野郡荘川村北部に位置し、平成11年9月の集中豪雨により、奥地に小規模な崩壊地が多発した。放置すると拡大してダム等に土砂が流出する恐れがあるが、奥地のため、資材の運搬等が掛かり増しとなる。</p> <p>このため、復旧工法として現地発生材を利用し、自然環境にも考慮した工法を採用し、下流域の保全及び保安林機能の増進を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.24 ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	23,089 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	8,968 千円
		災害防止便益	53,566 千円
		計	62,534 千円
	分析結果（B / C）	2.71	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹斜面の崩壊状況から、放置すれば更に拡大が懸念されることから、下流域の保全等、保安林機能の発揮のため事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 事業の実施により崩壊地の復旧が図られ、下流域の保全等が図られることから有効性が認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	水源森林総合整備（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	上矢作地区 （岐阜県）	事業実施主体	中部森林管理局名古屋分局 東濃森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、矢作川上流部に位置し、愛知県西三河地方一帯の水源である矢作ダム等があることから水資源確保上重要な地域であるが、平成12年9月の恵南豪雨災害（激甚災害指定）により、山腹斜面の崩壊により森林の被害、崩壊土砂の流出が発生していた。</p> <p>このため、崩壊地の復旧整備、森林整備等を総合的に実施し、水土保持機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工：13基 山腹工1.15ha 保育：44.37ha、除伐：52.75ha、枝落し25.93ha 本数調整伐276.84ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	491,643 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	4,176,501 千円
		災害防止便益	622,829 千円
		計	4,799,330 千円
	分析結果（B / C）	9.76	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大が懸念されることから、水土保持機能の維持向上のため当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性が認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		



## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成24年度（10年間）				
事業実施地区名 （都道府県名）	湯舟猿沢地区 （岐阜県）	事業実施主体	中部森林管理局名古屋分局 東濃森林管理署				
事業の概要・目的	<p>当地区は、中津川市北東部に位置し、地質は花崗岩のマサ風化地帯のため、豪雨により、表層剥離型の崩壊が発生し、河床に土砂が異常堆積しており、降雨の都度に土砂が流出している。</p> <p>このため、山腹崩壊地の拡大及び河床に不安定に堆積している土砂の流出を防止し、下流域の保全及び保安林機能の増進を図るものである。</p> <p>主な事業内容</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>山腹工</td> <td>1.87 ha</td> </tr> <tr> <td>溪間工</td> <td>9 基</td> </tr> </table>			山腹工	1.87 ha	溪間工	9 基
山腹工	1.87 ha						
溪間工	9 基						
費用対効果分析	総費用（C）	454,830 千円					
	総便益（B）	水源かん養便益	1,176,719 千円				
		災害防止便益	588,896 千円				
		計	1,765,615 千円				
	分析結果（B / C）	3.88					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊の拡大及び溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば土石流の発生が懸念されることから、下流域の保全等のため事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、溪床の不安定土砂の安定等により下流域の保全等が図られることから有効性が認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>						

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成16年度（2年間）						
事業実施地区名 （都道府県名）	滝洞地区 （愛知県）	事業実施主体	中部森林管理局名古屋分局 愛知森林管理事務所						
事業の概要・目的	<p>当地区は、北設楽郡設楽町西部に位置し、平成12年9月の集中豪雨により、山腹斜面に表層剥離型の崩壊が発生し、河床に土砂が異常堆積し、降雨の都度に土砂が流出している。</p> <p>このため、山腹崩壊地の拡大及び河床に不安定に堆積している土砂の流出を防止し、下流域の保全及び保安林機能の増進を図るものである。</p> <p>主な事業内容</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>山腹工</td> <td>0.05</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>溪間工</td> <td>1</td> <td>基</td> </tr> </table>			山腹工	0.05	ha	溪間工	1	基
山腹工	0.05	ha							
溪間工	1	基							
費用対効果分析	総費用（C）	15,985 千円							
	総便益（B）	水源かん養便益	2,086 千円						
		災害防止便益	24,971 千円						
		計	27,057 千円						
	分析結果（B / C）	1.69							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 山腹崩壊の拡大及び溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば土石流の発生が懸念されることから、下流域の保全等のため事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 当事業の実施により、溪床の不安定土砂の安定等により下流域の保全等が図られることから有効性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>								

## 事前評価個表

事業名	予防治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	アンコ沢地区 （愛知県）	事業実施主体	中部森林管理局名古屋分局 愛知森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>当地区は、北設楽郡設楽町西部に位置し、平成12年9月の集中豪雨により、渓岸侵食が発生し、河床に不安定土砂及び流木が堆積した。 このため、不安定に堆積している土砂の流出を防止し、災害を未然に防ぐものである。</p> <p>主な事業内容 渓間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	20,000 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	3,209 千円
		災害防止便益	49,941 千円
		計	53,150 千円
	分析結果（B / C）	2.66	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 渓床に堆積する不安定土砂等の状況から、放置すれば土石流の発生が懸念されることから、下流域の保全等のため当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、渓床の不安定土砂の安定等により下流域の保全等が図られることから有効性が認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	予防治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	閭苅地区 （愛知県）	事業実施主体	中部森林管理局名古屋分局 愛知森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>当地区は、額田郡額田町東部に位置し、地域一帯は、本宮山県立自然公園に指定され、四季を通じて入り込み者が多い。しかしながら、河床には不安定土砂及び流木が堆積している箇所がある。</p> <p>このため、不安定に堆積している土砂及び流木等の流出を防止し、災害を未然に防ぐものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1 基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	26,300 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	918 千円
		災害防止便益	61,343 千円
		計	62,261 千円
	分析結果（B / C）	2.37	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 溪床に堆積する不安定土砂等の状況から、放置すれば土石流の発生が懸念されることから、下流域の保全等のため当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、溪床の不安定土砂の安定等により下流域の保全等が図られることから有効性が認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	環境防災林整備(国有林)	事業計画期間	平成15年度～平成16年度(2年間)						
事業実施地区名 (都道府県名)	裏谷地区 (愛知県)	事業実施主体	中部森林管理局名古屋分局 愛知森林管理事務所						
事業の概要・目的	<p>当地区は、北設楽郡設楽町西部に位置し、愛知高原国立公園に指定されており林相は、原生林をはじめ針広混交林の複層林、針葉樹の単層林等幅が広く、保健保安林にも指定されている。また、周辺には豊川市野外教育センターや治山ガーデン、ふれあいの森も隣接し、教育活動やレクリエーションの場として広く活用され、入込者が多い。</p> <p>このため、森林整備及び管理歩道の開設や治山施設の整備を図り、防災機能の強化を図ると共に、保安林機能の向上を図る。</p> <p>主な事業内容</p> <table> <tr> <td>本数調整伐</td> <td>7 ha</td> </tr> <tr> <td>護岸工整備等</td> <td>70m</td> </tr> <tr> <td>管理歩道開設</td> <td>1,100m</td> </tr> </table>			本数調整伐	7 ha	護岸工整備等	70m	管理歩道開設	1,100m
本数調整伐	7 ha								
護岸工整備等	70m								
管理歩道開設	1,100m								
費用対効果分析	総費用(C)	48,476 千円							
	総便益(B)	水源かん養便益	743,093 千円						
		国土保全便益	13,568 千円						
		環境保全便益	44,683 千円						
		計	801,344 千円						
	分析結果(B/C)	16.53							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然に親しむ意識の高揚から、広い年齢層の者が利用する可能性が高く、施設等には安全に配慮したバリアフリー化が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、広い年齢層の者が安全に施設等を活用できることから有効性が認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>								

## 事前評価個表

事業名	複層林型保安林整備推進(国有林)	事業計画期間	平成15年度～平成17年度(3年間)															
事業実施地区名 (都道府県名)	段戸地区 (愛知県)	事業実施主体	中部森林管理局名古屋分局 愛知森林管理事務所															
事業の概要・目的	<p>当地区は、北設楽郡設楽町西部に位置し、豊川の支流当貝津川の水源地帯となっている。しかしながら、林分の過密化により下層植生の消滅等、保安林機能が著しく低下し、山腹崩壊が発生する恐れがある。</p> <p>このため、適切な密度管理を行い、光環境を創造する施業による複層林の誘導造成により保安林機能を高めるものである。</p> <p>主な事業内容</p> <table> <tr> <td>本数調整伐</td> <td>31.0</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>枝落し</td> <td>46.0</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>下刈</td> <td>50.0</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>除伐</td> <td>64.0</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>地拵</td> <td>3.0</td> <td>ha</td> </tr> </table>			本数調整伐	31.0	ha	枝落し	46.0	ha	下刈	50.0	ha	除伐	64.0	ha	地拵	3.0	ha
本数調整伐	31.0	ha																
枝落し	46.0	ha																
下刈	50.0	ha																
除伐	64.0	ha																
地拵	3.0	ha																
費用対効果分析	総費用(C)	45,202 千円																
	総便益(B)	水源かん養便益	595,961 千円															
		国土保全便益	7,361 千円															
		計	603,322 千円															
	分析結果(B/C)	13.35																
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 将来にわたって森林の機能を継続的に発揮していくため、植栽木の生育促進と森林の健全性の維持を図るため、当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、植栽木の生育促進と森林の健全性の維持が図られることから有効性が認められる。</li> <li>・効率性： 森林の機能回復を図る最も効果的かつ効率的な施業方法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>																	

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	川原谷上流地区 （滋賀県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 滋賀森林管理署
事業の概要・目的	<p>川原谷上流地区は、滋賀県の湖北、今津町の百瀬川上流に位置する川原谷国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区は、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高く、豪雨による山腹崩壊箇所の拡大、崩壊土砂の流出が続いている。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、崩壊地の拡大防止、不安定土砂の移動を抑制し、下流域の保全並びに水土保持機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.21 ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	40,000千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	8,521千円
		山地保全便益	83,445千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
		計	91,966千円
	分析結果（B / C）	2.30	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地及び溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念され、下流域の保全等水土保持機能の発揮のため当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 事業の実施により保安林機能の増大が図られること、地元からも保安林機能の発揮が期待されていることから事業の有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<sup>ほうしだに</sup> 法師谷地区 （和歌山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署
事業の概要・目的	<p>法師谷地区は、和歌山県西牟婁郡大塔村の前の川上流に位置する前の川国有林内の地区を対象としている。          当地区は、山岳奥地で自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高く、豪雨による不安定土砂の流出が続いている。          本事業は、これらの要請に応えながら、不安定土砂の移動を抑止し、溪床の安定により、下流域の保全並びに水土保持機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 谷止工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	25,000千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	159,903千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	36,372千円
		計	196,275千円
	分析結果（B / C）	7.85	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば土石の流出による災害が懸念され、下流域の保全等水土保持機能の発揮のため本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 事業の実施により溪床に堆積する土砂の安定など下流域の保安等が図られることから事業の有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul>		



## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>おどがわほんりゅう</small> 御殿川本流地区 （和歌山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署
事業の概要・目的	<p>御殿川本流地区は、和歌山県伊都郡高野町の御殿川上流に位置する高野山国有林内の地区を対象としている。          当地区は、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高く、豪雨による山腹崩壊箇所の拡大、崩壊土砂の流出が続いている。          本事業は、これらの要請に応えながら、崩壊地の拡大防止、不安定土砂の移動を抑止し、下流域の保全並びに水土保持機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.30 ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	22,000千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	18,786千円
		山地保全便益	151,165千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
		計	169,951千円
	分析結果（B / C）	7.73	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地及び溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念され、下流域の保全等保安林機能の発揮のため当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 事業の実施により保安林機能の増大が図られること、地元からも保安林機能の発揮が期待されていることから事業の有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ほどほら 程原231地区 （島根県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 島根森林管理署
事業の概要・目的	<p>程原231地区は、島根県邑智郡赤来町の程原川上流に位置する程原国有林内の地区を対象としている。          当地区は、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高く、豪雨による不安定土砂の流出が続いている。          本事業は、これらの要請に応えながら、崩壊地の拡大防止、不安定土砂の移動を抑止し、下流域の保全・保安林機能の増進を図ることを目的として本事業を計画した。</p> <p>主な事業内容 谷止工 1 基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	9,600千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	62,979千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	18,847千円
		計	81,826千円
	分析結果（B / C）	8.52	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば土石の流出による災害が懸念され、下流域の保全等水土保全機能の発揮のため本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 事業の実施により溪床に堆積する土砂の安定など下流域の保安等が図られることから事業の有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<sup>のた</sup> 野田地区 （岡山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 岡山森林管理署
事業の概要・目的	<p>野田地区は、岡山県真庭郡湯原町の旭川に接する山ノ神谷国有林内の地区を対象としている。          当地区は、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高く、豪雨による不安定土砂の流出が続いている。          本事業は、これらの要請に応えながら、崩壊地の拡大防止、不安定土砂の移動を抑止し、下流域の保全・保安林機能の増進を図ることを目的として本事業を計画した。</p> <p>主な事業内容 谷止工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	30,500千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	15,079千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	18,186千円
		計	33,265千円
	分析結果（B / C）	1.09	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば土石の流出による災害が懸念され、下流域の保全等水土保全機能の発揮のため本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 事業の実施により溪床に堆積する土砂の安定など下流域の保安等が図られることから事業の有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<sup>けやきたに</sup> ケヤキ谷地区 （岡山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 岡山森林管理署
事業の概要・目的	<p>ケヤキ谷地区は、岡山県阿哲郡大佐町の古谷川の上流部に位置する古谷国有林内の地区を対象としている。          当地区は、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高く、豪雨による不安定土砂の流出が続いている。          本事業は、これらの要請に応えながら、崩壊地の拡大防止、不安定土砂の移動を抑止し、下流域の保全・保安林機能の増進を図ることを目的として本事業を計画した。</p> <p>主な事業内容 谷止工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	34,000千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	20,245千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	36,372千円
		計	56,617千円
	分析結果（B / C）	1.67	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば土石の流出による災害が懸念され、下流域の保全等水土保全機能の発揮のため本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 事業の実施により溪床に堆積する土砂の安定など下流域の保安等が図られることから事業の有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<sup>どうがたに</sup> 堂ヶ谷地区 （岡山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 岡山森林管理署
事業の概要・目的	<p>堂ヶ谷地区は、岡山県御津郡御津町の旭川に接する城山国有林内の地区を対象としている。          当地区は、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高く、豪雨による不安定土砂の流出が続いている。          本事業は、これらの要請に応えながら、崩壊地の拡大防止、不安定土砂の移動を抑止し、下流域の保全・保安林機能の増進を図ることを目的として本事業を計画した。</p> <p>主な事業内容 谷止工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	28,500千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	16,410千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	29,984千円
		計	46,394千円
	分析結果（B / C）	1.63	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば土石の流出による災害が懸念され、下流域の保全等水土保全機能の発揮のため本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 事業の実施により溪床に堆積する土砂の安定など下流域の保安等が図られることから事業の有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<sup>しわざに</sup> 志和谷地区 （広島県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>志和谷地区は、広島県比婆郡高野町の俵原川上流に位置する俵原国有林内の地区を対象としている。          当地区は、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高く、豪雨による不安定土砂の流出が続いている。          本事業は、これらの要請に応えながら、崩壊地の拡大防止、不安定土砂の移動を抑止し、下流域の保全・保安林機能の増進を図ることを目的として本事業を計画した。</p> <p>主な事業内容 谷止工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	25,000千円	
	総便益（B）	23,177千円	
	水源かん養便益	23,177千円	
	山地保全便益	千円	
	環境保全便益	千円	
	災害防止便益	18,847千円	
	計	42,024千円	
	分析結果（B / C）	1.68	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば土石の流出による災害が懸念され、下流域の保全等水土保全機能の発揮のため本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 事業の実施により溪床に堆積する土砂の安定など下流域の保安等が図られることから事業の有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<sup>ねんぶつだにじょうりゅう</sup> 念仏谷上流地区 （広島県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島森林管理署
事業の概要・目的	<p>念仏谷上流地区は、広島県佐伯郡湯来町の念仏谷川上流に位置する根武谷山国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区は、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高く、豪雨による山腹崩壊箇所の拡大、崩壊土砂の流出が続いている。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、崩壊地の拡大防止、不安定土砂の移動を抑制し、下流域の保全・保安林機能の増進を図ることを目的として本事業を計画した。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.21ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	30,000千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	14,170千円
		山地保全便益	126,763千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
		計	140,933千円
	分析結果（B / C）	4.70	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地及び溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念され、下流域の保全等保安林機能の発揮のため当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 事業の実施により保安林機能の増大が図られること、地元からも保安林機能の発揮が期待されていることから事業の有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	予防治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	貴船口地区 （京都府）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 京都大阪森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>貴船口地区は、京都市の貴船川沿いに位置する貴船山国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区は、山地災害危険地区の山腹崩壊危険地区でAランクに判定された区域である。観光地として有名な貴船に接しており、年間通して多くの観光客や車両の通行があり、景観の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高く、また施工予定地直下には鉄道が通っている。</p> <p>本事業は、急傾斜地の崩壊又は不安定土砂の流出による直下の鉄道施設や下流域への被害を未然に防止し、併せて保安林機能の維持を図ることを目的として計画した。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.15ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	15,000千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	3,097千円
		山地保全便益	30,882千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
		計	33,979千円
	分析結果（B / C）	2.27	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 急傾斜地の山腹崩壊を予防し、鉄道施設、下流域の保全等保安林機能の発揮のため当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 事業の実施により保安林機能の増大が図られること、地元からも保安林機能の発揮が期待されていることから事業の有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul>		



## 事前評価個表

事業名	予防治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>いちのたに</small> 一の谷地区 （兵庫県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 兵庫森林管理署
事業の概要・目的	<p>一の谷地区は、兵庫県宍粟郡千種町の千種川上流に位置する鍋ヶ谷国有林内の地区を対象としている。          山地災害危険地区の山腹崩壊危険地区でAランクに判定された区域で、当地区の下流には、養魚場や景勝地の鍋ヶ谷溪谷があり、土砂流出防止対策、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高い。          本事業は、これらの要請に応えながら、崩壊又は不安定土砂の流出による下流域への被害を未然に防止し、併せて保安林機能の維持を図ることを目的として計画した。</p> <p>主な事業内容 谷止工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	17,000千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	22,303千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	18,186千円
		計	40,489千円
	分析結果（B / C）	2.38	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 集中豪雨等による不安定土砂の流出による災害が懸念され、下流域の保全等水土保全機能の発揮のため当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 事業の実施により溪床に堆積する土砂の安定など下流域の保安等が図られることから事業の有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	森林水環境総合整備（国有林）	事業計画期間	平成15～17年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<sup>かわらやま</sup> 河原山地区 （兵庫県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 兵庫森林管理署
事業の概要・目的	<p>河原山地区は、兵庫県宍粟郡山崎町の揖保川の支流伊沢川上流に位置する河原山国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区は、対象面積 486 ha で、流紋岩地質で表土が浅く、岩石地や表土が流出したガラ地が多く見られる。</p> <p>下流の集落では、上水及び農業用水取水施設もあり水資源の安定的な供給及び自然環境の維持・保全等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、山脚の固定と不安定土砂の抑止を図るための治山施設の整備と過密となった森林の整備を行い、良質な生活用水の確保と下流域の保全・保安林機能の増進を図ることを目的として本事業を計画した。</p> <p>主な事業内容 谷止工 7基 保育 5 ha 本数調整伐 113 ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	126,672千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	543,641千円
		山地保全便益	10,631千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	90,930千円
		計	645,202千円
	分析結果（B / C）	5.09	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 荒廃した溪床の復旧整備や荒廃森林の整備により、下流域の良質な水資源の確保・保全等水土保持機能の発揮のため当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 事業の実施により水資源の確保、溪床に堆積する土砂の安定、流出防止など下流域の保全等が図られることから事業の有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	生活環境保全林整備（国有林）	事業計画期間	平成15～19年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	紀泉高原地区 （和歌山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署
事業の概要・目的	<p>紀泉高原地区は、和歌山県和歌山市の紀泉高原国有林を対象とした地区であり、市街地にも近い都市近郊林的な森林で紀泉高原自然休養林に指定されており、大阪・和歌山から多くのハイカーで年間を通して賑わっている。しかし、林野火災も多く防災施設等の整備や脆弱な森林の整備が必要となっている。</p> <p>本事業は、管理車道等を整備し、効率的に森林整備を実施することにより、水土保全機能をはじめとする森林の有する多面的な機能を高度に発揮させることを目的として計画した。</p> <p>主な事業内容 谷止工 5基 植栽 2 ha、保育 71 ha、本数調整伐 84 ha 歩道整備 9,000 m 管理車道整備 4,200 m</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	277,047千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	579,183千円
		山地保全便益	13,490千円
		環境保全便益	28,034千円
		災害防止便益	47,118千円
		計	667,825千円
	分析結果（B / C）	2.41	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 都市近郊林としての多面的な要請が多く、歩道や施設の整備、荒廃した森林の整備により、防災・保全等環境保全機能と保健休養機能の高度発揮を図るための事業が必要である。</li> <li>・有効性： 事業の実施により都市住民の保健休養機能の要請に応え、防災対策など保全効果が図られることから事業の有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	保安林改良（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<sup>わすだに</sup> 和壽谷地区 （鳥取県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 鳥取森林管理署
事業の概要・目的	<p>和壽谷地区は、鳥取県八頭郡若桜町の千代川の支流つく米川上流に位置する氷ノ山国有林内の地区を対象としている。          当地区は、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高い。          本事業は、林床植生が不足し、不安定となっている箇所に植栽工を実施し、林地を安定させることにより保安林機能の維持、高度発揮を図ることを目的として計画した。</p> <p>主な事業内容                      植栽工    3.97 ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	4,600千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	37,216千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	47,118千円
		計	71,234千円
	分析結果（B / C）	15.49	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 複層林施業による森林造成により水源かん養・山地災害の防止等の水土保全機能の持続的・効果的な発揮を図るため当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 事業の実施により森林の機能発揮が図られ、水源かん養機能など下流域の保全等が図られることから事業の有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	保安林改良（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<sup>うしいわかわ</sup> 牛岩川地区 （広島県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島森林管理署
事業の概要・目的	<p>牛岩川地区は、広島市安佐北区の牛岩川上流に位置する鷹山国有林内の地区を対象としている。          当地区は、鎌倉寺山風景林として自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高い。          本事業は、林床植生が不足し、不安定となっている箇所に植栽工を実施し、林地を安定させることにより保安林機能の維持、高度発揮を図ることを目的として計画した。</p> <p>主な事業内容                      植栽工    4.35 ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	4,000千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	38,697千円
		山地保全便益	37,276千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
		計	75,973千円
	分析結果（B / C）	18.99	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 複層林施業による森林造成により水源かん養・山地災害の防止等の水土保全機能の持続的・効果的な発揮を図るため当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 事業の実施により森林の機能発揮が図られ、水源かん養機能など下流域の保全等が図られることから事業の有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	複層林型保安林整備推進（国有林）	事業計画期間	平成15～19年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	船通山地区 （島根県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 島根森林管理署
事業の概要・目的	<p>船通山地区は、島根県仁多郡横田町の斐伊川上流に位置する船通山国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区は、荒廃した森林が多いことから、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等のために早急に整備を行う必要がある。</p> <p>本事業は、複層林施業による森林造成・整備を図り、防災や保育作業のための作業道開設により、水源かん養機能等の保安林機能の維持、高度発揮を図ることを目的として本事業を計画した。</p> <p>主な事業内容 植栽工 14 ha 本数調整伐 124 ha 作業道新設 2,500 m</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	82,598千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	408,258千円
		山地保全便益	1,063,322千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
		計	1,471,580千円
	分析結果（B / C）	17.82	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 複層林施業による森林造成・整備により荒廃森林の水源かん養・山地災害の防止等の水土保全機能の持続的・効果的な発揮を図るため本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 事業の実施により森林の機能発揮が図られ、水源かん養機能など下流域の保全等が図られることから事業の有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	奥地保安林保全対策モデル(国有林)	事業計画期間	平成15～22年度(8年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	おおすきだに 大杉谷地区 (三重県)	事業実施主体	近畿中国森林管理局 三重森林管理署尾鷲森林経営センター
事業の概要・目的	<p>大杉谷地区は、三重県多気郡宮川村の宮川上流で景勝地の大杉谷渓谷を有する大杉谷国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区は、標高千<sup>ハ</sup>を超える山岳奥地で、台風や獣害による被害により荒廃した森林も一部見られ、裸地化による林地荒廃が進んでおり、国土保全・自然環境の維持及び水源かん養等、公益的機能の発揮のために早急に整備を行う必要がある。</p> <p>本事業は、荒廃して裸地化した林地を復旧するための植栽工を含む簡易な山腹工により森林の造成・復旧を図り、水源かん養機能等の保安林機能の維持、高度発揮を図ることを目的として本事業を計画した。</p> <p>主な事業内容 山腹工 32 ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)		180,051千円
	総便益(B)	水源かん養便益	250,352千円
		山地保全便益	272,999千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
		計	523,351千円
	分析結果(B/C)		2.91
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要性： 植栽工を含む山腹工により裸地化した林地の復旧を図り水源かん養・山地災害の防止等の水土保全機能の持続的・効果的な発揮を図るため当事業の実施が必要である。</li> <li>有効性： 事業の実施により保安林機能の増大が図られること、水源かん養機能など下流域の保全等が図られることから事業の有効性は認められる。</li> <li>効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）		事業計画期間	平成15年度～平成18年度（4年間）		
事業実施地区名 （都道府県名）	檜原地区 （香川）		事業実施主体	四国森林管理局 香川森林管理事務所		
事業の概要・目的	<p>当地区は、香川県中央部に位置し、砂岩、泥岩の互層よりなる脆弱な地質であり、豪雨の都度、山腹斜面の崩壊により、森林の被害、崩壊土砂の流出が発生していた。 このため、山腹崩壊地の拡大及び渓床に不安定に堆積している土砂の流出を防止し、保安林機能の増進を図るものである。</p> <p>主な事業内容      渓間工：8基      山腹工：0.08HA</p>					
費用対効果分析	総費用（C）			130,534	千円	
	総便益（B）	水源かん養便益			30,545	千円
		山地保全便益				千円
		環境保全便益				千円
		災害防止便益			326,170	千円
						千円
		計			356,715	千円
	分析結果（B/C）			2.73		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地及び渓床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば崩壊地の拡大が懸念されることから、下流域の保全等保安林機能の発揮のため当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当該事業の実施により、崩壊地の復旧や渓床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、事業の有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>					



## 事前評価個表

事業名	複層林型保安林整備推進(国有林)	事業計画期間	平成15年度～平成19年度(5年間)						
事業実施地区名 (都道府県名)	大久保山地区 (愛媛)	事業実施主体	四国森林管理局 愛媛森林管理署						
事業の概要・目的	<p>当地区は、愛媛県南部の僧都川上流に位置し、下流には城辺町外2町村の水源である大久保ダム等があることから水資源確保上重要な地域であるが、過密化等により水土保持機能が低下しており、複層林に誘導することにより将来にわたって森林の機能を継続的に発揮させ、水源かん養機能の増進を図るものである。</p> <p>主な事業内容</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>山腹工</td> <td>: 0.02ha</td> </tr> <tr> <td>本数調整伐</td> <td>: 150ha</td> </tr> <tr> <td>植栽工</td> <td>: 100ha</td> </tr> </table>			山腹工	: 0.02ha	本数調整伐	: 150ha	植栽工	: 100ha
山腹工	: 0.02ha								
本数調整伐	: 150ha								
植栽工	: 100ha								
費用対効果分析	総費用(C)	41,880	千円						
	総便益(B)	398	千円						
	水源かん養便益								
	山地保全便益		千円						
	環境保全便益	61,724	千円						
	災害防止便益	141,641	千円						
	計	203,763	千円						
	分析結果(B/C)	4.87							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：過密化等により水土保持機能が低下しており、放置すれば崩壊、土砂、流木等を発生させる恐れがあることから、水源かん養機能の増進を図るために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性：当事業の実施により、下層植生の成長の促進と立木の生育の健全化が図られ、水源かん養機能の増進ができることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性：事業の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>								

## 事前評価個表

事業名	水源森林総合整備（国有林）		事業計画期間	平成15年度～平成19年度（5年間）		
事業実施地区名 （都道府県名）	白髪山地区 （高知）		事業実施主体	四国森林管理局 嶺北森林管理署		
事業の概要・目的	<p>当地区は、吉野川上流域に位置し、下流には四国の水瓶として知られている早明浦ダムがあることから水資源確保上重要な地域であるが、破碎帯で非常に脆弱な地質であり、豪雨の都度、山腹斜面の崩壊により、森林の被害、崩壊土砂の流出が発生していた。このため、崩壊地の復旧整備、森林整備等を総合的に実施し、水土保持機能の維持、向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 渓間工：18基 山腹工：1.07HA</p>					
費用対効果分析	総費用（C）			725,027	千円	
	総便益（B）	水源かん養便益			236,403	千円
		山地保全便益				千円
		環境保全便益				千円
		災害防止便益			2,303,989	千円
						千円
		計			2,540,392	千円
	分析結果（B/C）			3.50		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：山腹崩壊地、渓床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持、向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性：当該事業の実施により、崩壊地の復旧や渓床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持、向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性：対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>					

## 事前評価個表

事業名	奥地保安林保全対策モデル(国有林)	事業計画期間	平成15年度～平成17年度(3年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	小屋敷山 (高知)	事業実施主体	四国森林管理局 安芸森林管理署魚梁瀬事務所
事業の概要・目的	<p>当地区は、高知県東部の奈半利川上流に位置し、下流には奈半利町外3町村の水源である魚梁瀬ダム等があることから水資源確保上重要な地域であるが、砂岩泥岩の互層で脆弱な地質であり、豪雨の都度、山腹斜面の崩壊により、森林の被害崩壊土砂の流出が発生している。</p> <p>しかし、崩壊地周辺は、地理的条件等から、建設機械及び資材等の搬入が困難な状況にあり、復旧対策が遅れている。</p> <p>このため、現場発生材を利用し、人力による施工を行うことにより、崩壊地の復旧整備を実施し、水土保全機能の維持、向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工:0.08HA</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	23,090	千円
	総便益(B)	3,874	千円
	水源かん養便益		千円
	山地保全便益		千円
	環境保全便益		千円
	災害防止便益	52,459	千円
	計	56,333	千円
	分析結果(B/C)	2.44	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性: 山腹崩壊地の状況から放置すれば、崩壊地の拡大が懸念されることから、下流域の保全等保安林機能の発揮のため当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性: 当該事業の実施により、崩壊地の復旧や荒廃森林の復旧が図られ、事業の有効性は認められる。</li> <li>・効率性: 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul>		



## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	内住地区 （福岡県）	事業実施主体	九州森林管理局 福岡森林管理署直方森林管理センター
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、三郡山の東側斜面に位置し、保全対象は、直下の内住林道及びその下流の筑穂町内住地区である。          これまでの集中豪雨等による溪岸浸食により、下流に土砂が流出した箇所であるため、早期に溪間工を施工し、復旧を図るものである。</p> <p>主な事業内容          溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	18,000 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	89,954 千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	392 千円
		災害防止便益	52,579 千円
		計	142,925 千円
	分析結果（B / C）	7.94	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	予防治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	油山地区 （福岡県）	事業実施主体	九州森林管理局 福岡森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、土砂崩壊防備保安林であり、下流直下に児童福祉施設（早良更生園悲田院）が、また、その下流は住宅地となっており、豪雨等により土砂が下流に流出する恐れがある。このため、早期に溪間工を施工し、荒廃危険山地の崩壊等の予防を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	19,000 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	149,924 千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	329 千円
		災害防止便益	44.671 千円
		計	194,924 千円
	分析結果（B / C）	10.26	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成16年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	宇美山地区 （福岡県）	事業実施主体	九州森林管理局 福岡森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、下流に人家、農地等もあり、豪雨によって土砂が流出する危険性が非常に高い。このため、早期に渓間工を施工し、不安定土砂の流出を防止して渓流域の復旧を図るものである。</p> <p>主な事業内容 渓間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	39,231 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 89,954 千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 535 千円 災害防止便益 244,572 千円	
	計	335,061 千円	
	分析結果（B / C）	8.54	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、渓床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、渓床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	奥地保安林保全対策モデル(国有林)	事業計画期間	平成15年度～平成16年度(2年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	トウトク地区 (福岡県)	事業実施主体	九州森林管理局 福岡森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、下流に福岡市のスポーツ施設や人家があり、福岡市の西部地区に位置し団地化しており、過去の集中豪雨等により造林地の小崩壊の災害が発生している。</p> <p>また、崩壊地等の周辺は、林道等から離れているため施工条件が厳しく、復旧事業等の整備がなされていない状況にある。</p> <p>このため、人力施工により森林整備と併せて治山工事を実施し保安林の公益的機能の充実を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工、除伐、本数調整伐</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	16,731 千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	134,931 千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	29,939 千円
	計	164,870 千円	
	分析結果(B/C)	9.85	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		



## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	妙楽寺地区 （佐賀県）	事業実施主体	九州森林管理局 佐賀森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、下流に集落、田畑があり、豪雨等によって大小の転石等が流出する危険性が高い。 このため、早期に渓間工を施工し、不安定土砂等の安定を図るものである。</p> <p>主な事業内容 渓間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	17,000 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	85,246 千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	187 千円
		災害防止便益	78,610 千円
		計	164,043 千円
	分析結果（B / C）	9.65	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：山腹崩壊地、渓床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性：当事業の実施により、崩壊地の復旧、渓床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性：対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	複層林型保安林整備推進(国有林)	事業計画期間	平成15年度～平成18年度(4年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	吾妻地区 (長崎県)	事業実施主体	九州森林管理局 長崎森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、島原半島の西部に位置し路網整備の遅れにより、過密化した林分の一部表土に流出が見られ、森林の公益的機能の低下から今後、崩壊土砂等の流出の恐れがある。このため、作業路の整備と併行して複層林への誘導・造成を行い、森林の公益的機能の促進と健全化を図る。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐、木柵工、作業路 植栽工、下刈り</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	81,847千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	701,433千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	16千円
		災害防止便益	48,748千円
		計	750,197千円
	分析結果(B/C)	9.17	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 過密化した林分の状況から森林の荒廃が著しく進行しており、このまま放置すれば崩壊地の発生が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、荒廃した森林の健全性が図られ、公益的機能の維持増進と保全機能が向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地発生材の利用等により、効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成16年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	川原地区 （長崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 長崎森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、川原林道の直上部に位置し、下流にはかんがい目的の大河原ダムがある。林内にはまだ不安定土砂が堆積しており、豪雨等により流出する危険性がある。このため、早期に谷止工を施工し、荒廃溪流の復旧と土砂流入防止を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	37,808 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 84,447 千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 55 千円 災害防止便益 82,663 千円 計 167,165 千円	
	分析結果（B / C）	4.42	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性：当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性：対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	木護地区 （熊本県）	事業実施主体	九州森林管理局 熊本森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該流域の渓床内には、山腹崩壊や、溪流荒廃により発生した不安定土砂が堆積しており、今後、集中豪雨等でこれらの土砂が流下し、下流域に被害を与える恐れがあることから工事に着手、民生の安定に寄与するものである。</p> <p>主な事業内容 渓間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	32,000 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 21,738 千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 431 千円 災害防止便益 150,778 千円 計 172,947 千円	
	分析結果（B / C）	5.40	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、渓床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、渓床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	白髪岳地区 （熊本県）	事業実施主体	九州森林管理局 熊本南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、球磨川支流免田川の最上流部に位置し、下流部には球磨盆地の集落や清願時ダム等もある。 近年、山腹崩壊及び渓流荒廃が進み、豪雨等によって下流域に土砂が多量に流出する危険性がある。 このため、早期に渓間工を施工し、荒廃渓流の復旧を図るものである。</p> <p>主な事業内容 渓間工 5基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	115,747 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	4,420 千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	166 千円
		災害防止便益	703,352 千円
		計	707,938 千円
	分析結果（B / C）	6.12	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、渓床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、渓床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	松木平家山地区 （大分県）	事業実施主体	九州森林管理局 大分西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該流域は、平成3年の台風19号・平成5年の台風13号により激甚な山地被害に見舞われ、多数の風倒木や山腹被害が発生した。溪流内には流木が不安定な状態で重なり、その上流に土石を堆積している箇所や、溪岸浸食により発生した土砂が溪床に堆積している箇所が見られる。3km下流には大分県内でも有名な観光地である、竜門の滝があり夏場には多くの観光客が滝滑りに訪れるなど、保全上においても重要な地区である。</p> <p>このため、流域内に溪間工を配し山脚を固定するとともに、山腹工により山腹の固定を図り、不安定土砂の流出を防止して溪流の復旧を図るものである。</p> <p>主な事業内容</p> <p>溪間工 4基</p> <p>山腹工 0.20ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	106,738 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	81,203 千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	118 千円
		災害防止便益	336,042 千円
		計	417,363 千円
	分析結果（B/C）	3.91	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	切込地区 （大分県）	事業実施主体	九州森林管理局 大分森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、全般的に急峻で下降斜面の急斜地が多く、また起伏も大きい地形となっている。過去には台風により被害を被った地域で、荒廃が著しく、荒廃した土砂が溪流の随所に不安定土砂として堆積しており、豪雨等により下流に流出する恐れがある。</p> <p>このため、流域内に溪間工を配し山脚を固定するとともに、早急に溪間工を施工し、不安定土砂の流出を防止して溪流の復旧を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.20 ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	20,000 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 4,530 千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 291 千円 災害防止便益 54,065 千円 計 58,886 千円	
	分析結果（B / C）	2.94	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	久住山地区 （大分県）	事業実施主体	九州森林管理局 大分森林管理署竹田森林管理センター
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、赤川集落の上部に位置し、下流には山荘や人家、農地等もあり豪雨等により土砂が流出する危険性が非常に高く、山地災害危険地区にも指定されている。このため、早期に渓間工を施工し溪流の安定を図るものである。</p> <p>主な事業内容 渓間工 3基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	94,278 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 569,232 千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 107 千円 災害防止便益 238,839 千円 計 808,178 千円	
	分析結果（B / C）	8.57	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：山腹崩壊地、渓床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性：当事業の実施により、崩壊地の復旧、渓床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性：対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		



## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	大内地区 （宮崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 宮崎北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該所は、多武ノ木林道の直上部に位置し、下流に人家、農地等あり、豪雨等によって土砂が流出する危険性が非常に高い。 このため、早期に溪間工を施工し、荒廃溪流の復旧を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 3基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	71,671 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 56,682 千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 271,189 千円  計 327,871 千円	
	分析結果（B / C）	4.57	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	海岸防災林造成(国有林)	事業計画期間	平成15年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	浜山地区 (宮崎県)	事業実施主体	九州森林管理局 宮崎北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当箇所は日向灘沿いに点在する海岸に位置し、後方には駅、工場、民家、道路の保全対象が近接しており、海岸林の後退を抑える必要があることから、早期に護岸工を施行し、保安林機能の維持・増進を図るものである。</p> <p>主な事業内容 傾斜型護岸工 70 m</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	30,000 千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	297 千円
		災害防止便益	115,840 千円
		計	116,137 千円
	分析結果(B/C)	3.87	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：従来からの台風等の襲来により、潮害防備保安林の林帯の決壊が発生したため、このまま放置しておくとな保安林機能の消滅が懸念されるために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性：当事業の実施により、高波、波浪等の被害から保安林の林帯の決壊を防ぎ、保安林の公益的機能の維持・向上が図られることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性：対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	袋谷地区 （宮崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 西都児湯森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、全般的に急峻で下降斜面の急傾斜が多く、また起伏も多い地形となっている。過去には台風等による被害を被った地域で、山腹崩壊及び溪流荒廃が著しく、随所に不安定土砂が堆積しており、豪雨等によっては下流に流下する恐れがある。このため、流域内に溪間工を施工し、不安定土砂を防止して溪流の復旧を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	22,500 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 56,682 千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 189 千円 災害防止便益 110,711 千円 計 167,582 千円	
	分析結果（B / C）	7.45	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	山下地区 （宮崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 宮崎森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、全般的に地形が急峻であり、また浮き石（3～5m）が多く分布する地帯である。 過去には3m程度の落石も発生し、民家間際に落下したこともあり、これらは今後台風や集中豪雨等によって山腹に残された巨石が、再度落下してくる恐れがある。 このため、山腹に落石防護ネットを配置し落石を防護して、下方の民家及び林道通行者への危険防止を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.20 ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	34,000 千円	
	総便益（B）	<p>水源かん養便益 34,260 千円</p> <p>山地保全便益 千円</p> <p>環境保全便益 349 千円</p> <p>災害防止便益 3,722 千円</p>	
	計	38,331 千円	
	分析結果（B / C）	1.13	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 荒廃した山腹斜面において、転石等の崩落により、山腹崩壊が拡大し保安林機能の維持が確保されず、このまま放置すれば下流域の民家への被害も懸念されることから、当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、山腹崩壊地の拡大防止及び下流域民家への被害防止が図られ、有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	細目地区 （宮崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 宮崎森林管理署都城支署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、全般的に急峻で斜面形は平行斜面ないし下降斜面が多く、高峰では稜線付近は尖って険阻地となっている。</p> <p>また、豪雨に対して弱い体質をもっているこの流域は以前より下流の保全対象に害を与えており、今もなお、荒廃が著しく、荒廃した土砂が溪流の随所に不安定土砂として堆積しており、豪雨等により下流に流出する恐れがある。</p> <p>このため、流域内に溪間工を配し山脚を固定するとともに、早急に溪間工を施工し、下流への災害軽減、水土保持機能の強化を図る。</p> <p>主な事業内容 溪間工 3基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	47,822 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 17,612 千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 318 千円 災害防止便益 298,919 千円 計 316,849 千円	
	分析結果（B / C）	6.63	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	水流川間地区 （宮崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 宮崎森林管理署都城支署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、高千穂峰山頂から800mまでは急斜面で、その下方は火山性山麓台地を形成している。千足川の右岸の市野々山山系の緩傾斜地に位置し、地質は粘板岩、頁岩を基岩に上部に火山灰が堆積している。</p> <p>過去、平成25、11年の台風、集中豪雨等により山腹崩壊と溪流荒廃が著しく、荒廃した土砂が溪流の随所に不安定土砂として堆積しており、豪雨の毎に土石を下流に押し流し耕地等に被害を与えている。</p> <p>このため、流域内に溪間工を配し山脚を固定するとともに、早急に溪間工を施工し、不安定土砂の流出を防止して溪流の復旧を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 3基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	59,587 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	10,931 千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	42 千円
		災害防止便益	456,549 千円
		計	467,522 千円
	分析結果（B / C）	7.85	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	満谷地区 （宮崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 宮崎森林管理署えびの森林管理センター
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、霧島火山帯の北部に位置し、地形は、幼齢期の緩傾斜な裾野状を呈している。平成8年の台風6号により小規模な崩壊地が多数発生しており、これらの崩壊地から生産された土砂は不安定な状態で渓流に堆積している。下流には、人家、農地等もあり、豪雨等により下流に流下する恐れがあるので、流域内に溪間工を配し山脚を固定するとともに早急に溪間工を施工し、不安定土砂の流出を防止して渓流の復旧を図るものである。</p> <p>主な事業内容  溪間工 3基  山腹工 0.2ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	74,850 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 72,862 千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 302 千円 災害防止便益 210,633 千円 計 283,797 千円	
	分析結果（B / C）	3.79	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	小松地区 （宮崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 宮崎南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、砂岩、頁岩の互層からなる四万十層郡に属するが、全般に亘って風化の激しい脆弱な地層と、急傾斜の山地から構成されている。                  過去には、豪雨により被害を被った地域で、山地災害危険地区にも指定され治山事業が進められてたが既設谷止工も満砂しており、今だ不安定土砂堆積が見受けられる。                  このため、流域内に溪間工を配し山脚を固定するとともに、早急に溪間工を施工し、不安定土砂の流出を防止して溪流の復旧を図るものである。</p> <p>主な事業内容                  溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	18,000 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	142,759 千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	270 千円
		災害防止便益	35,398 千円
		計	178,427 千円
	分析結果（B / C）	9.91	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		



## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成17年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	野平地区 （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 北薩森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、川内川の上流に位置し、下流には鶴田ダムがあり、豪雨等によって土砂がダム湖に流出する危険性が高い。 このため、地区内に早急に渓間工を施工し、荒廃渓流の復旧を図るものである。</p> <p>主な事業内容 渓間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	38,340 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	10,274 千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	112,422 千円
		計	122,696 千円
	分析結果（B / C）	3.20	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、渓床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、渓床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	予防治山(国有林)	事業計画期間	平成15年度(1年)
事業実施地区名 (都道府県名)	大水流地区 (鹿児島県)	事業実施主体	九州森林管理局 北薩森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、広瀬川の上流に位置し、直下方には国道447号線が走り下流には人家・農地等もあり、豪雨等によって土砂が下流に流出する危険性が非常に高い。 このため、地区内に早急にの溪間工を施工し、荒廃危険山地の崩壊等の予防を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	18,000 千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	5,791 千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	127,379 千円
		計	133,170 千円
	分析結果(B/C)	7.40	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性：当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性：対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	猩々地区 （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 北薩森林管理署大口事務所
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、出水市、水俣市に接し丘陵状の緩傾斜地であるが、山腹崩壊の発生や溪床への不安定土砂堆積が著しい。 また、この地帯は農業構造改善に伴う国有林の解放がなされ上流部に160haが牧場として県に貸与されており、流域の保全について万全な計画が必要とされている。 このため、本事業により溪間工を実施し、不安定土砂の流出防止及び山脚の固定により、流域の保全を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 3基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	45,953 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	123,527 千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	320,894 千円
		計	444,421 千円
	分析結果（B / C）	9.67	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	霧島山地区 （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 鹿児島森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、霧島火山帯に位置し、全般的に急峻で急傾斜が多く、また火山噴出物が堆積した箇所、さらには温泉の湧出地域であり極めて不安定な地質の地域である。</p> <p>過去には、台風により被害を被った地域で、荒廃が著しく荒廃した土砂が渓流の随所に不安定土砂として堆積しており、豪雨等により下流に流出するおそれがある。</p> <p>このため、流域内に溪間工を配し山脚を固定するとともに、早期に溪間工を施工し、不安定土砂の流出を防止して溪間の復旧を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	18,000千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	22,599千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	138,773千円
		計	161,372千円
	分析結果（B / C）	8.97	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	日添地区 （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 鹿児島森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、霧島火山帯に位置し、全般的に急峻で急傾斜が多く、また火山噴出物が堆積した箇所、風化が進み浸食されている。</p> <p>過去には、台風により被害を被った地域で、崩壊土砂流出危険地区に指定されている地域で、荒廃が著しく荒廃した土砂が溪流の随所に不安定土砂として堆積しており、豪雨等により下流に流出するおそれがある。</p> <p>このため、流域内に溪間工を配し山脚を固定するとともに、早期に溪間工を施工し、不安定土砂の流出を防止して溪間の復旧を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	20,000千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 33,583千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 160,956千円 計 194,539千円	
	分析結果（B / C）	9.73	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	複層林型保安林整備推進(国有林)	事業計画期間	平成15年度～平成17年度(3年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	新床地区 (鹿児島県)	事業実施主体	九州森林管理局 鹿児島森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、天降川の上流域に位置し、過密化した林分により森林に公益的機能の低下で、崩壊、土砂流出、立木等が発生するおそれがあるため、複層林への誘導・造成を行うことにより、森林の水源涵養機能等の促進と立木育成の健全化を図る。</p> <p>主な事業内容 植栽工、作業道、木柵工、本数調整伐</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	31,656千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	312,126千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	2,056千円
		計	314,182千円
	分析結果(B/C)	9.92	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 過密化した林分の状況から森林の荒廃が著しく進行しており、このまま放置すれば崩壊地の発生が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、荒廃した森林の健全性が図られ、公益的機能の維持増進と保全機能が向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地発生材の利用等により、効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	八津野地区 （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 鹿児島森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、全般的に急峻で下降斜面の急傾斜が多く、また起伏も大きい地形となっている。 過去には、台風により被害を被った地域で、荒廃が著しく荒廃した土砂が溪流の随所に不安定土砂として堆積しており、豪雨等により下流に流出するおそれがある。 このため、流域内に溪間工を配し山脚を固定するとともに、早期に溪間工を施工し、不安定土砂の流出を防止して溪間の復旧を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	21,950 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	92,193 千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	24,928 千円
		計	117,121 千円
	分析結果（B / C）	5.34	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	大平地区 （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 大隅森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、祓川林道の直上部に位置し、降雨の都度土砂が流出し転石が大きく露出しており、豪雨等によって土砂が流出する危険性が高い。 このため、早期に渓間工を施工し、荒廃溪流の復旧を図るものである。</p> <p>主な事業内容 渓間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	20,000千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	13,138千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	118,726千円
		計	131,864千円
	分析結果（B / C）	6.59	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：山腹崩壊地、渓床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性：当事業の実施により、崩壊地の復旧、渓床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性：対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		



## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成18年度（4年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	白川 - 1地区 （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 屋久島森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、一湊林道の直上部に位置し、下流に人家、農地等もあり、これまでも台風等により崩壊した山腹から生産された土砂が豪雨等によって流出し、下流へ被害をもたらした。</p> <p>現在でも計画的に渓間工を配し、渓流の勾配緩和等に努めてきたが、年間雨量5,000mm近いという地域の特殊性から、新たな崩壊地からの土砂の供給が今なお盛んである。</p> <p>このため、早期に渓間工を施工し、荒廃渓流の復旧を図るものである。</p> <p>主な事業内容            渓間工 4基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	93,499千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	14,337千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	397,877千円
		計	412,214千円
	分析結果（B / C）	4.41	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、渓床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、渓床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成17年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	白川 - 2 地区 （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 屋久島森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、一湊林道の直上部に位置し、下流に人家、農地等もあり、これまでも台風等により崩壊した山腹から生産された土砂が豪雨等によって流出し、下流へ被害をもたらした。</p> <p>現在でも計画的に渓間工を配し、溪流の勾配緩和等に努めてきたが、年間雨量5,000mm近いという地域の特殊性から、新たな崩壊地からの土砂の供給が今なお盛んである。</p> <p>このため、早期に渓間工を施工し、荒廃溪流の復旧を図るものである。</p> <p>主な事業内容 渓間工 3基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	98,233千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	23,460千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	397,877千円
		計	421,337千円
	分析結果（B / C）	4.29	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成17年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	平瀬 - 1地区 （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 屋久島森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、土面川の支流に位置し、下流に人家等もあり、過去に渓流内に堆積した不安定土砂が豪雨により土石流となって流下し、甚大な被害を及ぼした経緯がある。</p> <p>現在も計画的に渓間工を配し、渓流の勾配緩和、不安定土砂の流出抑止等に努めてきたが、年間雨量5,000mm近いという地域の特殊性から、土石の供給が今なお盛んであり、渓流内の不安定土石の堆積が顕著である。</p> <p>このため、早期に渓間工を施工し、荒廃渓流の復旧を図るものである。</p> <p>主な事業内容 渓間工 3基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	98,430千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	17,596千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	703,329千円
		計	720,925千円
	分析結果（B / C）	7.32	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：山腹崩壊地、渓床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性：当事業の実施により、崩壊地の復旧、渓床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性：対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	永谷地区 （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 屋久島森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、南種子町東部の狭隘な谷底地形にあり、その河川沿いに開けた農耕地から急傾斜な山腹への途中に位置する。標高は低いものの起伏が大きく入り込んだ地形となっている。</p> <p>最近の豪雨によって山腹面に崩壊地が発生し、生産された土砂が崩壊地下部の水田まで流出した。このため、最下部に土留工を配して山脚部を固定するとともに山腹面の新たな崩壊を防止するため、木柵工・緑化工等により荒廃地の復旧を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.06 ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	5,840千円	
	総便益（B）	4,237千円	
	水源かん養便益	千円	
	山地保全便益	千円	
	環境保全便益	千円	
	災害防止便益	1,954千円	
	計	6,191千円	
	分析結果（B / C）	1.06	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性：当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性：対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成16年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	鍋山地区 （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 屋久島森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、全般的に急峻で、下降斜面の急傾斜地が多く、また起伏も大きい地形となっている。  近年の豪雨によって、稜線上に発生した山腹崩壊地から生産された土砂が、大転石を巻き込んで流下した。  渓床には、山腹崩壊地より生産された土石等が、不安定な状態で随所に堆積しており、今後、豪雨等により下流に流出する恐れがある。  このため、渓間工を配することにより渓床勾配を緩和し、山脚を固定するとともに縦横浸食の防止、不安定土砂の流出を抑止して、荒廃地の復旧、災害の防止を図るものである。</p> <p>主な事業内容  渓間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	29,423千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	3,910千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	95,765千円
		計	99,675千円
	分析結果（B / C）	3.39	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、渓床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、渓床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成16年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	平瀬 - 2地区 （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 屋久島森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、浜の上林道の上流部及び県道永田宮之浦線上流に位置し、下流に人家、発電施設等もあり、現在堆積した土石が豪雨等により流出する危険性が非常に高い。</p> <p>計画的に渓間工を配し、渓流の勾配緩和、不安定土石の流出抑止等に努めてきたが、年間雨量5,000mm近いという地域の特殊性等から、土石の供給が今なお盛んであり、渓流内の不安定土石の堆積が顕著である。</p> <p>このため、早期に渓間工を施工し、荒廃渓流の復旧を図るものである。</p> <p>主な事業内容 渓間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	78,654千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	27,371千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	123,186千円
		計	150,557千円
	分析結果（B / C）	1.91	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地、渓床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、渓床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	海岸防災林（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成16年度（2年間）										
事業実施地区名 （都道府県名）	嵐山地区 （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 屋久島森林管理署										
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、南種子町東海岸部の浜田海水浴場周辺に位置し、千座の岩屋等の史跡名勝が隣接する。          現在まで潮害防備保安林造成の為、木柵工等により海岸線の浸食防止等に努めてきたが、昨年の台風の波浪により既設工作物の損壊、潮害によるマツの枯損が顕著となり、保安林の機能低下が懸念された。          このため、海岸部に木柵工を配して浸食を防止し山脚部を固定すると共に、丸太防風柵工により、潮風からの被害を緩和するものである。</p> <p>主な事業内容          消波護岸工 35m、防風柵工 300m 植栽工 1.50 ha</p>												
費用対効果分析	総費用（C）	42,231 千円											
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>282 千円</td> </tr> <tr> <td>災害防止便益</td> <td>115,840 千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>116,122 千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	千円	山地保全便益	千円	環境保全便益	282 千円	災害防止便益	115,840 千円	計	116,122 千円
	水源かん養便益	千円											
山地保全便益	千円												
環境保全便益	282 千円												
災害防止便益	115,840 千円												
計	116,122 千円												
分析結果（B / C）	2.75												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 従来からの台風等の襲来により、潮害防備保安林の林帯の決壊が発生したため、このまま放置しておくとならば保安林機能の消滅が懸念されるために当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、高波、波浪等の被害から保安林の林帯の決壊を防ぎ、保安林の公益的機能の維持・向上が図られることから有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。</li> </ul>												